平成28年度　事業報告書

平成29年 5月

社会福祉法人　大野城市社会福祉協議会

２０１６年（平成２８年）度事業報告

主な事業活動として下記の取り組みを行うとともに別紙のとおり報告いたします。

★印は、第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画として位置づけられた事業

		参照ページ
1．地域福祉推進事業		
①★	社協の地域福祉活動計画と市の地域福祉計画を一体的に策定した「第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画」が 2 年目となり、「大野城市やすらぎのまち市民協議会」において、本格的な事業の評価が行われるとともに、2 期目に向けて、継続して計画に位置づけするもの、通常事業へ移行するものなどの検討も開始された。	P7
②	職員が地域に出向く会議については、地域ケア会議 133 回、地域福祉推進委員会（福祉部会）232 回、コミュニティ福祉部会 34 回、総数 399 回となり、地域（区）における困難ケースの増加とともに地域ケア会議、地域福祉推進委員会も同時に増えている。	P9
③	各コミュニティ運営委員会が主催で実施しているひとり暮らし高齢者と地域のつどいである「番茶の会」については、参加者総数が 150 人を超える南地区では、既に会場を多目的室から、ふれあいホール（体育館）へ移し、平成28年度においては、中央地区においてもふれあいホールでの開催となった。ひとり暮らし高齢者の人たちの増加が「番茶の会」をとおして顕在化したものとなっている。	P16
④★	市民への福祉教育として実施しているふーちゃんゼミナールについては、プログラムの充実を図ったことにより、依頼回数の増とともに参加者数も100人程増加した。依頼内容は、認知症に関するもの、熊本地震などの被災地支援に関するものが多く、時勢を象徴したものとなっている。	P17
⑤★	認知症行方不明者捜索訓練は、南ヶ丘 2 区において実施した。同区は南地区で高齢化率が一番高い地域で、認知症への関心も高い地域である。この事業は、訓練だけを目的としているのではなく、認知症への正しい理解を進めるため、事前に認知症サポーター養成講座や認知症専門医による講座などを実施している。 なお、この訓練は大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画に位置づけたことにより、関係する市の担当部署と連携を図りながら、消防署・警察署の参加も得ている。	P20
2．法外援護対策事業		
	火災等の被災者に対し、布団並びに見舞金を支給している。台風や豪雨により公民館へ自主避難する人に対しては、市（危機管理部）と連携しながら貸布団を提供し支援を行っている。 また、認知症による行方不明者の件数が増加しており、大野城市行方不明者捜索マニュアルに沿い、市と連携しながら捜索にあたるが、近年、家族や関係者だけで捜索し、公にならない件数が増える傾向にある。	P21
3．福祉教育（学校）		
①	小学校から福祉教育の依頼については、学校教育におけるカリキュラムの編成により、時間数が減少しているため、限られた時間のなかで効果的な福祉教育の推進が求められている。	P28
②★	福祉教育基礎研修会は、大阪教育大学より講師を迎え、その内容については参加者より高い評価を得た。一方で、より多くの教職員の参加を得ることが重要であるため、教育委員会との連携を密にしながら、教職員が参加しやすい環境や条件を整えていく必要がある。	P30
③★	福祉教育推進校については、大野小学校が推進校として選定され、大野小学校の福祉教育推進にあたり、3、4 年生を中心に約 20 コマ分の授業について、大野小学校、市福祉課、社協とで一体的に福祉教育を推進した。	P31
4．共同募金運動		
	共同募金については、区長会、関係団体の協力により昨年度の実績を上回ることが出来た。今後とも市民の理解が得られるように、その使途の透明性を確保しながら、可視化していくことが求められている。 また、新たな取り組みとして、天龍堂製菓（仲畑）の協力を得て、共同募金に還元する寄付つき商品「ワンコイン（100 円）かりんとう」の販売を開始し、地域や団体からの注文をいただいている。	P32
5．生活福祉資金貸付事業		
	相談件数は、昨年度と比較するとやや少なくなったが、申込件数、決定件数とも昨年と変わらない。教育支援費については、平成 28 年 2 月から貸付上限額が 1.5 倍まで引き上げられたが、過度な貸付は、将来に大きな負担を背負うことになるので、初期の相談における説明が一層重要となっている。	P37

6．大野城市生活支援体制整備事業（市受託事業）		
	市の委託を受け、介護保険制度における地域包括ケアシステム構築のひとつである生活支援体制整備事業を平成 28 年 6 月から開始した。初年度は、生活支援体制整備研究会を設置し、市民への理解をどのように進めていくかなどを 11 名の委員により検討を開始するとともに、平成 29 年度中に設置しなければならない「協議体」についてのイメージをつかむため研究委員会委員を 2 班に分け、先進地への研修も実施した。	P38
7．被災地支援活動		
	東北の応援として、5 回目となる「東北応援の旅」で福島県南相馬市、宮城県松島市などを訪問した。 平成 28 年 4 月に発生した熊本・大分地震については、県社協等の調整により、5 月の間で、熊本県の益城町災害ボランティアセンター、西原村災害ボランティアセンターへ職員が運営支援に入った。 また、災害支援NPOが行った支援物資の募集にあたり、総合福祉センターを集積場所として、いち早く支援を行った。 なお、熊本県・大分県への被災地支援義援金については、200 万円を超える義援金が市民や団体から寄せられた。	P40
8．ボランティアセンター		
① ★	平成 27 年度に災害ボランティア養成講座を開催し、その後、受講生へのフォローアップ講座を継続して実施してきた。このような取り組みを行いながら、災害ボランティアグループの組織化に向けて受講生とともに考えていくことにしている。	P44
②	熊本地震への支援として、ボランティアを募集して社協福祉バスを 3 回運行し、熊本県益城町災害ボランティアセンターを通じて、益城町において災害支援ボランティア活動を行った。また、被災地でボランティア活動を希望する市民からの来会による相談は、165 人にのぼりボランティア保険加入手続きなどを行いながら、被災地情報を提供するとともに、被災地において注意すべきアドバイス等も行った。	P44
③ ★	ボランティアエントリーシステムについては、ホームページ上のシステムは、ほぼ完了したものの、プログラムの提供が不足していたため、エントリー（応募）するボランティアが少ない状況であった。今後は、情報収集等に努め、より多くのプログラムの提供が求められる。	P45
9．総合相談		
	新たな取り組みとして、コミュニティ（2 地区）において、法律相談を実施した。心配ごと相談、電話法律相談などの相談件数は、専門（法律等）相談が、昨年より増加しており、その相談内容としては、財産と人権に関するものが多く、特に財産に関する相談は毎年増加している。その要因としては、少子高齢・核家族化の進行が考えられる。ふくし何でも相談においては、精神保健に関する相談が増加傾向にある。	P49
10．介護サービス		
	介護保険制度改正による総合事業・訪問型サービスＡの開始により、訪問時間数の減少が顕著に表れたものとなっている。一方で、より専門性を必要とする障がいのある人へのホームヘルプサービスにシフトしてきているが、経営（収支）上は予断を許さない状況にある。 また、地域における困難ケースでは、社協の訪問介護員・ケアマネジャー・地域課職員が連携しながら困難ケースに対応するなどして社協の強みを活かしている。 なお、毎年、コミュニティで実施されている総合避難訓練では、福祉避難所の運営スタッフとして訓練に参加している。熊本地震では、全国社会福祉協議会・ホームヘルパー連絡会の調整により、熊本県御船町の福祉避難所において、その運営支援にあたった。	P51
11．権利擁護事業		
★	大野城市地域福祉活動における市民活動計画に位置づけされた権利擁護事業の具体的な取り組みとして、総務企画課内に「権利擁護事業推進準備室」を設け、日常生活自立支援事業や法人後見を中心とする取り組みを強化した。 特に法人後見事業については、家庭裁判所を訪問し、事業の実施にあたり留意点などを確認した。また、受任に関する適否を審議し、法人後見業務を監督するため、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職（外部委員）で構成する「成年後見運営委員会」も設置した。 日常生活自立支援事業については、利用者が急増していることや、権利擁護事業の裾野を広めるため生活支援員（市民ボランティア）の増員に努めた。	P55

１２．寄　附		
	香典返しなどの寄附が依然として、減少している。その背景として、核家族化により特に都市圏において、葬儀のかたちが家族葬へと変化し、香典返し寄附そのものが、一般的になじみがないものになってきていると考えられる。 一方で、市内の企業より寄贈などもあり、企業の社会貢献としての寄附のあり方については、ファンドレイジングの考え方を取り入れながら、一層の工夫やPRが必要となっている。	P58

平成２８年度職員体制（平成２９年３月末時点）

事務局長	1　名	
総務企画課	9　名	（内、嘱託5名）
地域課	13　名	（内、嘱託3名、非常勤6名）
介護サービス課	38　名	（内、非常勤27名）
総数	61　名	

平成28年度　大野城市社会福祉協議会　主な行事・会議等報告書

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備　考
4	4	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	7	木		広報委員会	専門委員会
	9	土	職員研修		
	13	水		福祉委員会	
			※地域ケア会議・・・9地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 18地区	
5	11	水		広報委員会	専門委員会
				27年度下半期監査	
	13	金		福祉事業委員会	専門委員会
	16	月		総務委員会	専門委員会
	17	火	地域包括ケアシステム研修会		
	18	水	第1回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	19	木		正副会長会	
	26	木		理事会	
	27	金		評議員会	
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 9地区	
6	3	金		広報委員会	専門委員会
	6	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	8	水		福祉委員会	
	15	水		ボランティアセンター運営委員会	
			※地域ケア会議・・・13地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 18地区	
7	3	日	夏っ子クラブ・小中ふれあいの旅事前研修会		
	6～8	水～金	東北応援の旅		
	9	土	職員研修(接遇)		
	11	月		広報委員会	専門委員会
	13	水	第2回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	26	火	夏っ子クラブ①(ハンディを持つ子どもたちの一時預かり事業)		
	29	火	夏っ子クラブ②		
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 13地区	
8	1	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	2	火	夏っ子クラブ③	広報委員会	専門委員会
	5	金	夏っ子クラブ④	正副会長会	
	9	火	夏っ子クラブ⑤		
	12	金	夏っ子クラブ⑥		
	19	金	夏っ子クラブ⑦		
	23	火	夏っ子クラブ⑧		
	24	水	福祉教育基礎研修会	福祉委員会(福祉教育基礎研修会と同時開催)	
	26	金	夏っ子クラブ⑨		
	27～28	土・日	小中ふれあいの旅2016		
	31	水		理事会	
				評議員会	
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 15地区	

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備　考
9	1	木		共同募金会大野城市支会理事会	
	6	火	共同募金啓発ポスター選考会		
	9	金		広報委員会	専門委員会
	10	土	赤い羽根共同募金のつどい		
	11	日	夏っ子クラブ・小中ふれあいの旅報告会		
	20	火		ボランティアセンター運営委員会	
	24～25	土・日	おおの山城大文字まつり		
	29	木	第1回大野城市生活支援体制整備事業研究会		
			※地域ケア会議・・・8地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 12地区	
10	1	土	共同募金運動開始(12/31まで)		
	3	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	6	木		広報委員会	専門委員会
	9	日	ふれあいの旅2016事前説明会		
	12	水		福祉委員会	
	16	日	翔んでふれあって2016		
	22～23	土・日	ふれあいの旅2016		
	24	月	中央地区番茶の会		
	31	月	第3回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
			第2回大野城市生活支援体制整備事業研究会		
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 19地区	
11	2	水	北地区企業募金推進会議		
	5	土	まどかフェスティバル		
	6	日	健康食育フェスティバル		
	7	月	南地区企業募金推進会議		
	9	水	南地区番茶の会		
	10	木	中央地区企業募金推進会議	広報委員会	専門委員会
	11	金	北地区番茶の会		
			東地区企業募金推進会議		
	16	水	南ヶ丘2区認知症を理解する講座	上半期監査	
	19	土	ふれあいの旅2016報告会		
	20	日	南ヶ丘2区認知症行方不明者捜索訓練		
	21	月	東地区番茶の会		
	26	土	ふくしフェスティバル2016リハーサル・前日準備		
	27	日	ふくしフェスティバル2016		
	29	火		総務委員会	専門委員会
	30	水	災害ボランティアフォローアップ講座		
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 10地区	
12	5	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	6	火	第3回大野城市生活支援体制整備事業研究会		
	7	水		広報委員会	専門委員会
	8	木		正副会長会	
	10	土	職員研修(人権)		
	14	水		福祉委員会	
	16	金		共同募金会大野城市支会理事会	
	20	火		理事会	
	22	木		評議員会	
	26	月		ボランティアセンター運営委員会	
			※地域ケア会議・・・12地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 13地区	

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備　　考
1	11	水		広報委員会	専門委員会
	17	火	第4回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	18	水	成年後見運営委員会		
	19	木		評議員選任解任委員会	
	27	金		理事会	
	31	火	心配ごと相談事業懇談会		
			※地域ケア会議・・・10地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 13地区	
2	2～3	木・金	生活支援体制整備研究会視察研修【第1班】		
	2	木		広報委員会	専門委員会
	6	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	8	水		福祉委員会	
	16～17	木・金	生活支援体制整備研究会視察研修【第2班】		
	19	日	スイーツ×トークinOnojo		
	21	火		ボランティアセンター運営委員会	
	28	火	災害ボランティアフォローアップ講座		
			※地域ケア会議・・・14地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 15地区	
3	1	水	第4回大野城市生活支援体制整備事業研究会		
	4～5	土・日	JVCC2017福岡・大野城(全国ボランティアコーディネーター研究集会2017)		
	6	月		評議員選任解任委員会	
				福祉事業委員会	専門委員会
	10	金		広報委員会	専門委員会
				総務委員会	専門委員会
	11	土	おおのじょうボランティアのつどい		
			東地区復興の夕べ		
	12	日	東地区総合避難訓練 災害ボランティアフォローアップ講座		
	14	火		正副会長会	
	16	木		共同募金会大野城市支会理事会	
	17	金	在宅介護者のつどい		
	21	火	第5回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
				理事会	
	29	水	第5回大野城市生活支援体制整備事業研究会		
	30	木		評議員会	
			※地域ケア会議・・・11地区	福祉推進委員会(福祉部)・・・ 18地区	

※　毎月第2土曜日は介護サービス定例研修

平成２８年度 事業報告書

目　次

「平成２８年度事業報告（概要）」

Ⅰ．法　人

1. 理事会・評議員会等 …… 1
2. 専門委員会 …… 5
3. 情報公開 …… 6

Ⅱ．事業・活動

4. 地域福祉推進事業 …… 7
5. 広報関係 …… 21
6. 法外援護対策事業 …… 21
7. 身体障がい者福祉対策事業 …… 22
8. 知的障がい児者福祉対策事業 … 23
9. 高齢者福祉対策事業 …… 24
10. 子育て支援事業 …… 25
11. 児童青少年福祉対策事業 …… 28
12. 福祉教育 …… 28
13. 父母子福祉対策事業 …… 31
14. 在宅介護者支援事業 …… 31
15. 平成 28 年度共同募金運動 …… 32
16. 福祉機器貸出事業 …… 34
17. 福祉機器リサイクル事業 …… 34
18. 移送サービス事業 …… 35
19. ハンディキャブ貸出事業 …… 35
20. 福祉食事サービス …… 36
21. 福祉バス運行事業 …… 36
22. 生活福祉資金貸付事業 …… 37
23. 大野城市生活支援体制整備事業… 38
24. 被災地支援活動 …… 40

Ⅲ．ボランティアセンター事業

25. ボランティア活動推進 …… 42
26. 声の広報 …… 48

Ⅳ．総合相談事業

27. 総合相談事業 …… 49

Ⅴ．介護サービス事業

28. 介護サービス事業 …… 51

Ⅵ．総合福祉センター

29. 総合福祉センター …… 53

Ⅶ．権利擁護事業

30. 日常生活自立支援事業 …… 55
31. 法人後見事業について …… 57

Ⅷ．寄附採納事業

32. 寄附採納事業 …… 58

Ⅸ．その他の事業

33. ふくしフェスティバル 2016 … 59
34. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ … 59
35. 職員の資格（取得）状況 …… 60
36. 職員内部研修 …… 61

【資　料】

別表１．社協会員推進状況 …… 62
別表２．介護サービス状況 …… 63
別表３．ほっとサポート状況 …… 66
別表４．介護サービス研修会開催状況…67
別表５．福祉食事サービス利用状況 … 68
別表６．職員研修参加等実績 …… 69

Ⅰ. 法　　人

理事会・評議員会等 …… 1
専門委員会 …… 5
情報公開 …… 6

1．理事会・評議員会等

理事・監事の任期は、平成 27 年 6 月 1 日から平成 29 年 5 月 31 日まで。

評議員の任期は、平成 27 年 6 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで。

1　理事会開催状況　（理事総数　１３名）

開催年月日			議　　題		出席者
平成28年	5月26日	第1回	第1号議案	平成27年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	11名
			第2号議案	平成27年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会福祉事業会計決算書及び監査報告について	
			第3号議案	地域包括ケアシステムにおける大野城市生活支援体制整備事業の業務受託とそれに伴う平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支予算の補正(案)について	
			第4号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会監事(識見を有する者)の推薦について	
			第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員の選任について	
	8月31日	第2回	第6号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員の選任について	12名
			第7号議案	福岡県共同募金会大野城市支会理事の任期満了にともなう社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事の推薦について	
	12月20日	第3回	第8号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の定款並びに定款施行細則の変更について	12名
			第9号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の定款変更に基づく評議員選任・解任委員会運営要綱(案)を定めることについて	

			第10号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について	
			第11号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局職員給与規程(案)について	
			第12号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員の選任(同意)について	
			第13号議案	社会福祉法の一部を改正する法律の施行にともなう評議員の選任候補者の推薦について	
平成29年	1月27日	第4回	第14号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会副会長の選定について	13名
	3月21日	第5回	第15号議案	平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について	13名
			第16号議案	改正社会福祉法による社会福祉法人大野城市社会福祉協議会経理規程の改定(案)について	
			第17号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業計画書(案)について	
			第18号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支予算(案)について	
			第19号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会役員等の識見を有する者の推薦について	

正副会長会の開催　・・・・・　打合せ会議を4回開催
理事会・評議員会の議案の事前審議

2 監事会の開催状況

開催年月日		監 査 内 容	出席者
平成28年	5月11日	平成27年度の会計決算監査	2名
	11月16日	平成28年度の会計中間監査	2名

3 評議員会開催状況　（評議員総数　３１名）

開催年月日			議　　題		出席者
平成28年	5月27日	第1回	第1号議案	平成27年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	22名
			第2号議案	平成27年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会福祉事業会計決算書及び監査報告について	
			第3号議案	地域包括ケアシステムにおける大野城市生活支援体制整備事業の業務受託とそれに伴う平成28年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支予算の補正(案)について	
			第4号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会監事(識見を有する者)の選任について	
	8月31日	第2回	第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事の選任について	23名
	12月22日	第3回	第6号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の定款並びに定款施行細則の変更について	22名
			第7号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会の役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について	
			第8号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局職員給与規程(案)について	

			第9号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事の選任について	
平成29年	3月30日	第4回	第10号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について	22名
			第11号議案	改正社会福祉法による社会福祉法人大野城市社会福祉協議会経理規程の改定(案)について	
			第12号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業計画書(案)について	
			第13号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会資金収支予算(案)について	
			第14号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会理事及び監事の選任について	

4 評議員選任・解任委員会開催状況　（委員総数　５名）

開催年月日			議　　題	出席者
平成29年	1月19日	第1回	評議員の選任について(評議員の定数について)	5名
	3月6日	第2回	評議員の選任について	5名

2．専門委員会

1　専門委員会開催状況

委員会名	開催年月日	議　　題
総務委員会	平成28年　5月16日	第1回理事会、評議員会の報告事項と議案について ・平成27年度事業報告書について(議案) ・平成27年度予算の補正等について(報告事項) ・平成27年度決算について(議案) ・大野城市生活支援体制整備事業の受託とそれに伴う平成28年度予算の補正について(議案)
	平成28年11月29日	第3回理事会、評議員会の議案並びに報告について ・定款の変更 ・定款施行細則の変更 ・法改正に伴う諸規定の変更 ・人事院勧告に伴う給与規程の改正 ・理事・評議員選任予定
	平成29年　3月10日	第5回理事会、第4回評議員会について ・平成28年度補正予算(案)について ・経理規程の一部改定(案)について ・平成29年度事業計画書(案)について ・平成29年度予算(案)について
広報委員会	平成28年　4月　7日 平成27年　5月11日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(157号)　2016. 6.1 号
	平成28年　6月　3日 平成28年　7月11日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(158号)　2016. 8.1 号
	平成28年　8月　2日 平成28年　9月　9日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(159号)　2016.10.1 号
	平成28年10月　6日 平成28年11月10日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(160号)　2016.12.1 号
	平成28年12月　7日 平成29年　1月11日	赤い羽根まちがい探し抽選 社協だより(ふくしんぼ)の編集(161号)　2017.2.1 号
	平成29年　2月　2日 平成29年　3月10日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(162号)　2017.4.1 号
福祉事業委員会	平成28年　5月13日	・平成27年度社会福祉協議会事業の概要報告 ・地域包括ケアシステムと大野城市生活支援体制整備事業の受託について
	平成29年　3月　6日	・平成29年社会福祉協議会事業計画(案)について ・その他

3．情報公開

平成13年より情報公開に取り組み、市民の福祉活動への理解と信頼及び積極的な参加を促進することを目的として行っています。

1 状　況

◇ 情報公開請求人　0名

情報公開請求件数:0件

処理状況:情報公開決定通知:0件

2 情報公開請求　0回

Ⅱ. 事業・活動

地域福祉推進事業 …… 7
広報関係 …… 21
法外援護対策事業 …… 21
身体障がい者福祉対策事業 …… 22
知的障がい児者福祉対策事業 …… 23
高齢者福祉対策事業 …… 24
子育て支援事業 …… 25
児童青少年福祉対策事業 …… 28
福祉教育 …… 28
父母子福祉対策事業 …… 31
在宅介護者支援事業 …… 31
平成28年度共同募金運動 …… 32
福祉機器貸出事業 …… 34
福祉機器リサイクル事業 …… 34
移送サービス事業 …… 35
ハンディキャブ貸出事業 …… 35
福祉食事サービス …… 36
福祉バス運行事業 …… 36
生活福祉資金貸付事業 …… 37
大野城市生活支援体制整備事業 …… 38
被災地支援活動 …… 40

4．地域福祉推進事業

第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画の２年目として、その方策のひとつである「緊急連絡カードの充実」において、長い間、懸案であった様式や運用方法の標準化を行い、自宅での緊急時に役立つよう、保管容器に緊急連絡カードを入れ、冷蔵庫に保管する方法が市の施策として全市統一された。今後は、着実にその情報更新等を行い、同時に地域の見守り活動と連携することが重要な課題となる。

なお、地域における困難ケースとして、当事者家族への対応が難しいケースがあり、社協地域ワーカー・ケアマネ、地域ボランティア、介護保険事業所が連携しながら、長い期間継続的に対応している。当事者のみならず、その家族への対応が難しいケースの増加は、介護サービスにおいても見受けられるため、今後の課題となることが推測される。

平成 28 年度実績

1　第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市と社協が一体的に策定した本計画は、平成 28 年度で２年目に入った。

本計画は、計画を立て(P)、事業の実行(D)、事後の評価(C)、見直し(A)の過程を明らかにするために、市民参加型の進行管理機関「大野城市やすらぎのまち市民協議会」が設置され、10 人の委員により、ひとつひとつの方策について、評価等を行いながら、今後の指針となる意見をいただいた。

◇大野城市やすらぎのまち市民協議会

開催年月日			議　　題	出席者
平成28年	5月18日	第1回	①平成28年度の協議会について ②平成28年度14事業の主な事業展開について ③第2期計画策定に向けて	9名
	7月13日	第2回	①事業進捗状況の報告(災害ボランティア養成事業の実施、福祉教育推進校の共同事業、法人後見事業の実施) ②事業推進のための相談協議(ボランティアエントリーシステムの構築、日常生活自立支援事業の充実)	10名
	10月31日	第3回	①事業進捗について再報告(災害ボランティア養成事業の実施、ボランティアエントリーシステムの構築) ②事業進捗の報告(福祉教育基礎研修会の充実) ③第2期計画策定について	10名

平成29年	1月17日	第4回	①事業進捗の報告（大野城市総合福祉まつりの充実、認知症行方不明者捜索模擬訓練、緊急連絡カードの充実、地域見守り支援力の強化） ②グループ協議	9名
	3月21日	第5回	①事業進捗の報告（おおのじょうボランティアのつどい、ふくしのたねの推進、福祉啓発関連事業への市民参加の促進、ふーちゃんゼミナール） ②グループ協議	10名

2 福祉委員会活動事業（第17期）

各区に1名の福祉委員を委嘱し、偶数月に定例会議を実施。

◇定例会の開催

期　　日	内　　容
平成28年 4月13日(水)	福祉委員会情報交換会及び懇談会
平成28年 6月 8日(水)	グループ協議（事例検討） 【在宅介護支援センターが関わる要支援高齢者について】
平成28年 8月24日(水)	福祉教育基礎研修会
平成28年10月12日(水)	グループ協議 【福祉に資する身近にある社会資源について】
平成28年12月14日(水)	緊急連絡カードについて
平成29年 2月 8日(水)	消費者トラブルの紹介と対策について

3 社会福祉協議会会員推進

◇会員推進状況

	一般会員	賛助会員	特別会員	合計
件数	13,563件	73件	136件	13,772件
口数	20,841口	73口	137口	21,051口
金額	10,486,776円	146,000円	685,000円	11,317,776円

※会員推進状況の詳細については、巻末資料「別表1 平成28年度社協会員推進状況」参照

4 福祉育成援助活動

27区の行政区に地域福祉活動助成金として社協会員会費及び共同募金配分金を交付。

5 地域ケア会議

目　的：高齢者の状況を中心に市（地域包括支援センター）、地域、民生委員、福祉委員、在宅介護支援センター、社会福祉協議会がさまざまな情報を共有し、地域での見守り活動や支援活動を推進することを目的に開催され、社協より地区担当者等が必ず出席している。地域ケア会議の開催回数は、困難ケースの増加とともに開催回数も増える傾向にある。特に、認知機能の低下による困難ケースが増え、社協職員が関係機関や地域そして、日常生活自立支援事業などのサービスへ繋げる役割を担っている。

地域ケア会議参加状況（開催回数 133 回）

地区	地域名	開催回数	現状と課題
南地区	牛頭区	7　回	民生委員が日頃の見守り報告の中には、前回の会議から対象者がどう変わったかなどの継続ケースがあがってくることで共有しやすい。
	若草区	6　回	気になるケースについては、民生委員が訪問し在介や包括に繋げているケースがある。また民生委員からの相談で社協の日常生活自立支援事業に繋がったケースもあった。
	平野台区	3　回	高齢者の日常の見守りばかりでなく、シニアクラブの状況報告や、災害時の対策にも日頃から取り組まれている。
	月の浦区	4　回	高齢者ばかりでなく、小中学校の現状や、65 歳未満の気になるケースも議題にあがってきている。
	南ヶ丘１区	6　回	高齢者が最も多い区で、会議の話題は高齢者はもちろん児童や障がい者など幅広い層の対象者が議題になることもある。
	南ヶ丘２区	12　回	毎月開催しており、昨年より急に増えてきた空き家の問題が議題にあげられ、地域では抱えきれない問題も出て来ている。
	つつじヶ丘区	5　回	南地区の中では、社協のサービス利用者が少ない区だが、民生委員のきめ細かな見守りにより、住民のニーズや課題の報告があがっている。
中央地区	上大利区	5　回	人口・世帯数が多く、見守りが必要な方も多いと思われる。また、児童の問題等のケースも幅広く話し合われている。
	下大利区	5　回	交通の便が良く、集合住宅も多い地域性から困難ケースが多いため、地域・民間サービス・公的機関の連携の必要性がますます高まっている。
	東大利区	9　回	高齢者に対する情報共有や処遇についての検討が中心であるが、同居の家族や 65 歳未満の方に関する支援なども課題として上がってきている。
	下大利団地区	6　回	高齢化率が伸び続け細やかな見守り活動・支援報告が共有されているが、外からの見守りが難しい集合住宅なので、推進委員等からの情報提供や、訪問して顔が見える関係を築いていくことがとても重要な地域である。
	白木原区	6　回	オートロックのある集合住宅など見守り自体が難しい中、管理人等とも連携しながら見守り・支援をされた状況が話し合われている。

	瓦田区	6　回	一つ一つのケースが継続する困難事例が多く、地域と介護・福祉サービス職員による継続した見守り活動が続いている。
東地区	釜蓋区	1　回	毎月福祉部定例会で見守りの情報交換を行っている。対象者一人ひとりに担当の福祉部員を決め、訪問等が行われた。
	井の口区	9　回	対象者名簿を随時更新しながら、見守り活動のあり方について議論されている。今年度は気になる方216名の情報を関係機関と一緒に確認した。
	中区	6　回	ケア会議と福祉部推進委員会を隔月開催されている。ケア会議ではシニアクラブと情報共有しながらきめ細かい見守り活動が展開された。
	乙金区	4　回	公民館を活用した居場所づくりに力を入れており、多くの高齢者や子どもたちが公民館に足を運ぶ取り組みが行われた。
	乙金台区	4　回	ケア会議で報告された気になる事例について、担当者会議を開催し、顔の見える関係づくりと具体的な福祉サービスにつながった。
	乙金東区	4　回	今年度から定期的にケア会議が開催されており、約90名の対象者にマンツーマンで見守り担当者を決めて、訪問活動等が行われた。
	大池区	3　回	6月・10月・2月にケア会議が開催された。今年度より少しずつ対象者の見守り活動を実施して情報が記録化された。
北地区	上筒井区	6　回	民生委員がこまめに見守り訪問、関係機関・団体と連携され、対象者の状況把握をされている。
	下筒井区	4　回	日頃の見守りに加え、見守り訪問や地域行事など様々な方法で見守りと啓発が行われている。
	山田区	-	活発な活動が展開される中、見守りが必要な方の情報が集まっており、地域福祉推進委員会がケア会議の役割を果たしていたが、今後ケア会議開催を予定している。
	雑餉隈町区	4　回	見守り対象者が多く、会議の場でたくさんの報告事項がある。
	栄町区	6　回	継続的に見守る必要がある人が多く、推進委員会を中心とした情報共有がなされている。
	仲島区	-	今年度は推進委員会において日頃の見守り状況が報告されるとともに、情報収集、ケア会議構成メンバーについて協議がなされた。
	畑詰区	2　回	民生委員・福祉委員のほか、推進委員からも見守り報告が多い。推進委員会全体で見守りが行われている。

6 各区の地域福祉推進委員会の開催状況

各地域で定例的に開催され地域福祉推進委員会(福祉部会)の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各地域の福祉活動を支援している。
地域ケア会議等において、個別ケースの検討により、地域での見守りが必要なケースは、地域福祉推進員会によって組織的に見守り活動が行われる。したがって、地域ケア会議に比例してその会議数も増える傾向にある。
地区担当(南:馬場　中央:高原　東:粟津　北:山内)　　(開催回数 232 回)

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数	現状と課題
南地区	牛頸区地域福祉推進委員会	7　回	これまでの高齢者サロン・子育てサロンに加え、カフェの取り組みも始まり、南地区の中でも行事が多い推進委員会。3 人の民生委員を班長とする 3 班でそれぞれ活動している。
	若草区地域福祉推進委員会	6　回	今年から区役員や推進委員会の会長も代わり、新体制で取り組まれている。新しい推進委員も増え、新鮮な意見や考えも飛び交っている。
	平野台区福祉部会	12　回	会議の前半は区や社協からの連絡事項を伝え、民生委員から気になるケースの報告がある。後半は、福祉部員で 1 か月間の行事の確認と内容や役割分担を協議している。
	月の浦区地域福祉推進委員会	8　回	会議の議題には、区からの連絡事項の他、福祉委員から、南コミ福祉部会から、社協からとそれぞれの委員からの報告もあり、推進委員でいつも情報共有している。
	南ヶ丘 1 区福祉部	7　回	ミニデイでコミュニケーションマージャンを活用したり、新たにおしゃべりサロンを開催するなどミニデイの内容の工夫等に取り組んでいる。
	南ヶ丘 2 区地域福祉推進委員会	12　回	毎月の地域ケア会議と同時開催され、推進委員全員での情報共有がその都度行われている。
	つつじヶ丘区福祉推進部	12　回	午前中にミニデイがあり、終了後に福祉推進部を開催。その日のミニデイの振り返りや、翌月のミニデイや福祉推進部の研修会、バスハイクの内容検討が中心。

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数	現状と課題
中央地区	上大利区地域福祉推進委員会	5　回	子育てサロンも活動に追加され、推進委員活動が活発化している。また、上大利区では 27 年度から隣組長を対象にした認知症についての勉強会を実施している。
	下大利区愛のネットワーク推進委員会	12　回	定期的な清掃や、区内の福祉施設との交流を継続しながら推進委員会で話し合いが持たれている。推進委員会メンバーが発行する広報誌も福祉啓発の一つとなっている。
	東大利区地域福祉推進委員会	5　回	日中仕事をされている推進委員も多く、それぞれの経験や人脈が区活動や福祉活動に反映されている。ミニデイは参加者も地域課題を話し合う時間が設けられている。
	下大利団地区地域福祉推進委員会	12　回	地域ニーズを反映させたミニデイや情報を共有する推進委員会が行われ、きめ細かい見守り活動も展開されている。
	白木原区地域福祉推進委員会「こだまの会」	6　回	ミニデイや季節の行事の話し合いに会のメンバーが積極的に意見を出しながら身体障害を持つ方との合同外出活動等、様々な福祉活動を展開されている。
	瓦田区地域福祉推進委員会	12　回	高齢者対象のミニデイや子育てサロン活動では、内容等について委員より活発に意見を出し合いながら継続して行っている。
東地区	釜蓋区福祉部	12　回	毎月午前中にミニデイ、午後から福祉部会が開催された。まどか園、せんだんの丘とも連携した取り組みが行われた。
	井の口区福祉部会	-	毎月ミニデイ（月陽会）が開催されており、終了後に福祉メンバーで簡単な打合せが行われている。
	中区福祉部推進委員会	6　回	偶数月に開催された。今年度は「緊急連絡カード」も福祉部メンバーで1軒1軒配布が行われた。
	乙金区福祉部	12　回	乙金保育園児や子ども会と高齢者の異世代交流サロンが大きな特徴であり、年間を通して合同の交流会が数回開催された。
	乙金台区福祉部	12　回	上半期に足元気教室、下半期に音楽サロンが行われた。年に3回、民間企業などと連携した出前講座も実施された。
	乙金東区福祉部	7　回	福祉部会は偶数月と3月の夜に開催された。年齢や世帯別のミニデイが実施され、毎月2回見守り活動が行われた。

	大池区福祉部	10　回	毎回福祉部メンバーによる手作り企画が 14 時まで実施された。その後福祉部定例会を開催している。
北地区	上筒井区福祉部会	12　回	正副部長（福祉委員・民生委員）の進行で、子ども会や食改善からも部会に参加されている。
	下筒井区地域福祉推進委員会	10　回	ミニデイに男性参加者を増やすための工夫をされるなど課題意識が高い。
	山田区地域福祉推進委員会	5　回	コミュニケーションマージャンなど住民が参加する行事が行われている。昨年度から子育てサロンも立ち上がった。
	雑餉隈町区地域福祉推進委員会	－	福祉委員と民生委員が連携して、高齢者サロンや子育てサロンを行っている。活動前後に今後の行事や活動確認が行われている。
	栄町区地域福祉推進委員会	6　回	会長（民生委員）と区長が連携しながら会議を進めている。高齢者サロン、子育てサロンも毎月開催している。
	仲島区地域福祉推進委員会	12　回	推進委員会では少人数ながら見守り活動、高齢者ミニデイ、子育てサロンなど月に3回前後の事業を行っている。
	畑詰区地域福祉推進委員会	12　回	定例会の時間は参加者の事情に応じて不定期開催とし、ミニデイなど行事の内容も話し合いによって毎回工夫を凝らしている。

7 ミニデイよりあい活動

◇ 各区におけるミニデイ活動状況

地 区	名称等	開催日	参加者数 (1日平均)
牛頸	牛頸あいあい会	3班で各々年4回 10:00～14:00	23
若草	若草あいあい会	3班で各々年3回 10:00～14:00	30
平野台	花水木の会	第1水曜日 10:30～14:00	29
月の浦	菜の花会	第1・第2金曜日 10:00～13:00	28
南ヶ丘1	友遊クラブ	第2水曜日 10:00～13:30	11
南ヶ丘2	ひまわり会 ミニデイ	第2木曜日 10:30～13:30 第3木曜日 10:30～13:30	26 23
つつじヶ丘	ふれあい会	第2金曜日 10:00～12:00	25
上大利	音楽サロン等	第2金曜日 10:00～12:00	20
下大利	ミニデイ	年4回 10:00～13:00	50
東大利	ミニデイ	第4火曜日 10:00～13:00	9
下大利団地	ミニデイ	第4火曜日 10:00～12:00	25
白木原	ミニデイ	第4月曜日 13:30～15:00	20
瓦田	ミニデイ	年5回 10:00～13:00	35
釜蓋	ミニデイ	第4金曜日 10:00～13:00	25
井の口	月陽会	第1月曜日 10:00～13:00	25
中	かたろう会	第3月曜日 10:00～13:00	30
乙金	かごめかごめの会 等	年11回 10:00～12:00	30
乙金東	しののめ会 等	年11回 10:00～14:00	30
乙金台	花草会	年13回 10:00～12:30	30
大池	こすもすサロン	第3月曜日 10:30～14:00	12
上筒井	音楽サロン、 あじさいサロン	年6回 年2回 10:00～15:00	35
下筒井	ミニデイ ひまわりサロン等	第4水曜日 10:00～12:00 第2・第4火曜日 13:20～15:40	18 10
山田	ふれあいマージャン 音楽サロン	第4金曜日等 年6回	30
雑餉隈町	ミニデイ	年12回 10:00～12:00	18
栄町	ミニデイ	年10回 10:00～12:30	32
仲島	音楽サロン ミニデイ	年2回 10:00～12:00 年7回 10:00～13:30	17 10
畑詰	ミニデイ	年3回 10:00～13:00	16

各地域で行われるミニデイは、各地域福祉推進委員会の活動の一環として実施されている。また、各地域の食生活改善推進会と連携しながら食生活に留意した会食会やお弁当の宅配なども行われている。

8 各地区コミュニティ福祉部会の開催状況

各コミュニティで定例的に開催される福祉部会の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各コミュニティの地域福祉活動を支援している。

各コミュニティともに「地域福祉推進委員のつどい」「番茶の会」は共通事業であるが、平成28年度は、各コミュニティにおいて、地域包括ケアシステムに関する研修会が取り入れられた。

地区担当（南：馬場　中央：高原　東：粟津　北：山内）

（開催回数34回）

各地区福祉部会	定例会開催回数	現状と課題
南コミュニティ福祉部会	12　回	4コミの中でも特に事業が多い福祉部会で、今年も新しい部員が増え、少しずつではあるが新たな意見が取り入れられ、ほぼ毎月定例会や行事に取り組まれている。
中央コミュニティ福祉部会	7　回	福祉推進委員の集いや、番茶の会などの事業を実施しているが、番茶の会については、これまでの会場では狭くなってきていることを踏まえ、増加する参加者への対応として会場を変えて開催した。
東コミュニティ福祉部会	9　回	東コミュニティ福祉部会は輪番制で毎年担当地区が変わり、各区より民生委員と福祉委員、推進委員の3名が参加している。次年度の番茶の会の会場についてロイヤルチェスターでの開催を検討した。
北コミュニティ福祉部会	6　回	各区より民生委員と福祉委員が1名ずつ参加している。進行は部会長だが、コミュニティ運営委員会が事務局を兼ねており、事務局長が統括している。事業によっては、NPO共働のまちや行政センターからの出席がある。

9 コミュニティ福祉部会の活動支援

◇各地区のコミュニティ福祉部会の活動状況

期日		部会名	人数	内容
平成28年	6月13日(月)	南地区コミュニティ福祉部会	66	福祉レクリエーション講習会
	7月 8日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	78	北地区福祉推進委員合同研修会 北地区福祉レクリエーション講座
	7月11日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	40	九電出前講座「楽しく学ぶ省エネライフ」
	7月15日(金)	中央地区コミュニティ福祉部会	103	第8回福祉推進委員のつどい 地域に広げよう"お互いさま"～地域包括ケアシステムの推進と住民主体の助け合い活動の役割～
	8月26日(水)	南地区コミュニティ福祉部会	94	第17回福祉推進委員交流のつどい
	9月10日(土)	中央地区コミュニティ福祉部会	64	中央地区子育て支援親子教室
	9月12日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	22	視察研修(立花高等学校)
	9月14日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	81	北地区福祉推進委員合同研修会 北地区福祉レクリエーション講座
	9月16日(金)	南地区コミュニティ福祉部会	14	視察研修(障害福祉サービス事業所 浮羽学園)
	10月10日(月)	北地区コミュニティ福祉部会	－	MADOKAれくスポ 福祉体験コーナー・幼児コーナー
	11月 9日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	29	北地区福祉推進委員合同研修会 「子どもたちの現状と子育て」
	11月13日(日)	南地区コミュニティ福祉部会	－	まつり南風
平成29年	1月25日(水)～ 3月28日(火)	南地区コミュニティ福祉部会	203	いきいきボランティア入門講座(計5回)
	2月13日(月)	東地区コミュニティ福祉部会	40	福祉推進委員交流のつどい 「ミニデイに活用できる出前講座」
	2月18日(土)	南地区コミュニティ福祉部会	38	子育て支援講演会「お話し会」
	3月 8日(水)	北地区コミュニティ福祉部会	24	「株式会社おとなの学校本校」 (熊本県熊本市)

◇第34回番茶の会(ひとり暮らし高齢者等のつどい)
各コミュニティ運営委員会(福祉部会)主催、社会福祉協議会共催で実施された。

地区	期日	会場	参加者(対象者数)
南地区	平成28年11月 9日(水)	南コミュニティセンター	154名
北地区	平成28年11月11日(金)	ロイヤルチェスター	132名
中央地区	平成28年10月24日(月)	中央コミュニティセンター	171名
東地区	平成28年11月21日(月)	東コミュニティセンター	93名

◇コミュニティ福祉部会の活動推進費の交付
◇コミュニティ福祉部会連絡協議会役員との定例会　6回開催(偶数月)
4地区コミュニティ福祉部会より2名参加し、各コミュニティの取り組み等の情報交換を行っている。
◇共同募金配分金をとおして各コミュニティの福祉活動に助成

10　ふーちゃんゼミナール　第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市全域に、「向こう三軒両隣」を広げる啓発事業として、地域へ講座メニューを提示しながら地域ニーズに応じた地域主体の学びの場としてコーディネートを行いました。筑紫地区人権擁護委員会や筑紫地区薬剤師会等の協力を頂きながら、プログラムのさらなる充実を図ったことにより、昨年度と比較すると、延べ参加人数は、約 2 倍近くとなった。

◇　ふーちゃんゼミナール開催状況

開催日	内容	受講団体名	参加者数	担当職員・協力団体
4月6日(水)	地域福祉活動について	平野台区福祉部会	27名	馬場
4月14日(木)	地域福祉活動について	南ヶ丘2区自治会	12名	馬場
6月1日(水)	熊本地震について	大野城市民生委員・児童委員連合協議会生活福祉部会	31名	高原
6月15日(水)	もし近くに認知症の方がいたら	北地区民生委員児童委員協議会	23名	阿相
6月15日(水)	薬の正しい飲み方	南地区民生員児童委員協議会	26名	筑紫薬剤師会
6月19日(日)	介護保険を使うことになったら？	NPO法人共働のまち大野城中央	20名	阿相
6月23日(木)	社会福祉協議会について、熊本地震における被災地支援について	牛頸区地域福祉推進委員会	40名	馬場、高原
6月25日(土)	薬の正しい飲み方	仲島シニアクラブ	25名	筑紫薬剤師会
7月22日(金)	熊本地震における被災地支援について	牛頸区地域福祉推進委員会	75名	粟津
8月1日(月)	「認知症」を理解する講座 認知症予防・相談	井の口区	55名	松田医師、井上
8月9日(火)	応急手当	下大利団地地域推進委員会	25名	消防署、高原、山内
9月28日(水)	熊本地震の支援活動報告を受けて私たちにできることを考える	大野城共生ネットワーク	30名	粟津
10月20日(木)	もし近くに認知症の方がいたら	南ヶ丘2区ミニデイ	25名	阿相
10月28日(金)	介護保険を使うことになったら？ 知って得する「訪問入浴事業」「ほっとサポート」	南ヶ丘1区シニアクラブ 楽寿会	60名	阿相
11月6日(日)	もし近くに認知症の方がいたら	NPO法人共働のまち大野城中央	20名	阿相
11月14日(月)	もし近くに認知症の方がいたら	JA筑紫大野城女性部	50名	阿相
平成29年 2月27日(月)	日常生活自立支援事業と成年後見制度について	株式会社ウェルフェアネット	36名	井上
3月4日(土)	地域福祉活動について	中区福祉部	30名	馬場
3月12日(日)	災害に強いまちづくり	乙金東区	120名	粟津

参加人数延べ　730名

11 民生委員児童委員連合協議会活動への助成

◇民生委員児童委員連合協議会は、民生委員法及び児童福祉法に基づき要援護者の見守り等、各区の福祉委員とともに地域福祉のキーパーソンとして活動がなされている。

12 東地区総合避難訓練

大野城市東地区コミュニティを対象に、震度6強の地震が発生した想定で総合避難訓練が開催された。社会福祉協議会は市災害対策本部の要請により事務局職員及び介護職員を東コミュニティセンターに派遣し、福祉避難所で要支援者等への情報聞き取りなどを行った。また、今年度は災害ボランティアセンターフォローアップ講座を兼ねて、防災講話にも参加した。

開催日 ： 平成28年3月12日(日)
場 所 ： 東コミュニティセンター
職 員 ： 6名
役 割 ： 福祉避難所内で避難者(要支援者)への情報聞き取りなど

13 東地区復興の夕べ

市の総合避難訓練の前日に東コミュニティセンターで、東日本大震災及び熊本地震で犠牲となった方々のご冥福と1日も早い被災地の復興を祈念する「復興の夕べ」が開催された。今年度は中学生による被災地派遣事業報告や地域の方々による復興支援イベントも行われた。

開催日 ： 平成28年3月11日(土)18時～20時
場 所 ： 東コミュニティセンター多目的室
参加者 ： 約200名
職 員 ： 3名
主 催 ： 東地区総合避難訓練等実行委員会

14 平成28年度コミュニケーションマージャン貸出状況

貸出地区・団体	貸出期間
男女平等推進センター	4月1日～4月4日
山田区地域福祉推進委員会	4月14日～4月15日
南ヶ丘1区シニアクラブ楽寿会	4月21日～4月22日
大野城高齢者支援プロジェクトげんきかい	4月27日～4月28日
山田区地域福祉推進委員会	5月19日～5月20日
大野城高齢者支援プロジェクトげんきかい	5月25日～5月26日
牛頸区地域福祉推進委員会	6月13日～6月14日

山田区地域福祉推進委員会	6月16日～6月17日
男女平等推進センター	6月21日～6月22日
大野城高齢者支援プロジェクトげんきかい	6月22日～6月23日
男女平等推進センター	7月1日～7月4日
栄町区地域福祉推進委員会	7月6日～7月8日
山田区地域福祉推進委員会	7月21日～7月22日
大野城高齢者支援プロジェクトげんきかい	7月27日～7月28日
山田区地域福祉推進委員会	8月18日～8月19日
乙金台区シニアクラブ	8月26日～8月29日
山田区地域福祉推進委員会	9月15日～9月16日
大野城高齢者支援プロジェクトげんきかい	9月27日
南ヶ丘１区福祉部	10月12日
乙金東区福祉部	10月12日～10月14日
中区福祉部	10月17日
山田区地域福祉推進委員会	10月20日～10月21日
山田区地域福祉推進委員会	11月17日～11月18日
南ヶ丘1区福祉部	12月14日～12月15日
山田区地域福祉推進委員会	12月15日～12月16日
山田区地域福祉推進委員会	1月19日～1月20日
下筒井区	1月24日～1月25日
牛頸区地域福祉推進委員会	2月13日～2月15日
山田区地域福祉推進委員会	2月16日～2月17日
乙金東区福祉部	3月2日～3月3日
牛頸区地域福祉推進委員会	3月13日～3月15日
山田区地域福祉推進委員会	3月16日～3月17日

平成 28 年度コミュニケーションマージャン貸出状況・・・延べ 22 地区、10 団体

15 南ヶ丘２区認知症行方不明者捜索訓練

第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

認知症の方とご家族が抱える問題を他人事としてではなく、自分の問題として捉えていくことができるよう、地域の方に認知症の人とその家族を支えることを理解して頂くとともに、もし認知症の方が行方不明になったとしても、地域全体で捜索する体制づくりと、初動時に地域福祉関係者だけではなく、様々な関係機関と連携を図っていくことを目的に、今年度は南ヶ丘2区で開催された。

日　時　：　平成 28 年 11 月 20 日（日）午前 9 時 00 分集合
会　場　：　南ヶ丘2区公民館
参加者　：　132 名

南ヶ丘2区各種団体	69	名
一般参加者（市内）	17	名
地域密着型サービス事業所	19	名
南在宅介護支援センター	3	名
春日警察署	2	名
春日・大野城・那珂川消防本部	1	名
市役所職員	13	名
社会福祉協議会職員	8	名
計	132	名

訓練開催まで、南ヶ丘2区と市の関係各課、南在宅介護支援センターと社協で打ち合わせを重ね、区運営委員会や組長会で協議や進捗状況の共有を図った。また、地域の方々に認知症について正しく理解して頂くため、10 月に認知症サポーター養成講座、11 月に認知症を理解する講座を開催した。

【南ヶ丘2区認知症を理解する講座】

日　時　　平成28年11月16日（水）　13:30～
講　師　　牧病院　福岡県認知症医療センター理事長・院長　牧　聡氏
テーマ　「正しい認知症の理解」

◎［南ヶ丘２区認知症行方不明者捜索訓練報告書を作成しています。］

8．知的障がい児者福祉対策事業

ふれあいの旅は、ハンディのある人とボランティアと一泊二日を過ごす事業として、34 回目を終了した。夏休みに実施している、ハンディある小中学生を対象とした「小中ふれあいの旅」は、周知活動に努めた結果、参加者が増となった。高校生以上を対象とした秋のふれあいの旅は、定員を超える申し込みで、キャンセル待ち状態が続いている。

夏っ子クラブは、平成 16 年から開始した事業であるが、改正児童福祉法（平成 24 年 4 月施行）により放課後等デイサービス事業（送迎付き）が創設されたことにより、同事業を実施する事業所が増加したことで、平成28年度は、一日の利用が 10 名以下となっている。

平成 28 年度実績

1 ふれあいの旅２０１６（第３４回）

期　　日 ： 平成28年10月22日（土）～23日（日）
場　　所 ： 門司港・山口県（山口ふるさと伝承総合センター・みかん狩り）
参 加 者 ： 98名（参加者44名、ボランティア48名、職員6名）
協　　力 ： 大野城市ボランティア連絡協議会

2 小中ふれあいの旅２０１６．８

期　　日 ： 平成28年8月27日（土）～28日（日）
場　　所 ： アフリカンサファリ・大分市美術館（大分県）
参 加 者 ： 45名（参加者17名、ボランティア21名、職員7名）

3 夏っ子クラブ（ハンディを持つ子どもたちの夏季休暇一時預かり事業）

内　　容 ： レクリエーション・創作活動・水遊び、他
期　　日 ： 平成28年7月26日（火）～8月26日（金）（お盆を除く火曜日と金曜日）
場　　所 ： 大野城市子ども療育支援センター
登録人数 ： 13名（小学生6名、中学生6名、高校生1名）
利用者数 ： 58名（延べ人数）
登録スタッフ ： 53名
活動スタッフ ： 96名（延べ人数）

4 大野城市手をつなぐ育成会への助成

共同募金配分金をとおし、その活動の助成を行っている。今年度は、育成会主催事業「心をつなぐ擬似体験を共催した。

期　　日 ： 平成28年10月27日（木）
場　　所 ： 総合福祉センター3階大会議室
参 加 者 ： 54名
内　　容 ： 知的、発達障害者の「心をつなぐ擬似体験学習」

9．高齢者福祉対策事業

核家族化とあわせて、急速にすすむ高齢化により、高齢者世帯の抱える困難な問題や団塊の世代が迎えようとしている定年後の地域社会への参加などが課題である。

平成28年度実績

1 大野城市シニアクラブ連合会に対する活動援助

シニアクラブ連合会では、活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいと健康づくりや長年培ってきた知識、経験を地域社会のために生かす取り組みや、通学路における小学生の見守り活動等を展開されている。

職員派遣

期　日：5月24日（火）
場　所：まどかパーク多目的グラウンド
内　容：第25回ペタンク大会

期　日：5月26日（木）～27日（金）
会　場：大分県日田市天瀬町
内　容：理事等研修会

期　日：6月7日（火）
場　所：まどかパーク多目的グラウンド
内　容：第24回グラウンドゴルフ大会

期　日：10月11日（火）
場　所：まどかパーク多目的グラウンド
内　容：第25回グラウンドゴルフ大会

2 大野城市シニアクラブ連合会への助成

共同募金配分金をとおし、その活動の助成を行なっている。会員相互の健康保持のための活動や健康医療講演会、訪問見守り活動などがなされている。

5．広報関係

市内を中心とした幅広い福祉情報を掲載した「社協だより（愛称：ふくしんぽ）」を年 6 回発行している。ホームページの訪問数について、熊本地震の被災地支援情報やボランティアエントリーシステム等を発信したことにより、昨年度と比較すると 5,600 人程の増となっている。

平成 28 年度実績

1 「社協だより」の発行

主　旨　：広く地域の福祉情報を収集し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めている。
発 行 号：157号・158号・159号・160号・161号・162号

2 ホームページ等による情報発信

社協活動、東日本大震災被災地支援情報等を随時更新しながら発信をしている。

ホームページ訪問数　：　４７，０６４
ユーザー数　　：　　８，６３２

（4/1～3/31までの実績：グーグルアナリティクスによる解析）

3 ツイッター、フェイスブックによる情報発信

ツイッターとフェイスブックの運用を開始し、社協の活動や災害ボランティア情報等を積極的に発信し、タイムリーな情報発信を行っている。

6．法外援護対策事業

火災等の被災者に対し、見舞品や見舞金を支給。豪雨災害により公民館に避難された時は、貸ふとんや簡易ベッドを搬入し支援を行っている。

また、認知症高齢者の徘徊等による行方不明者が発生した時は、大野城市行方不明者捜索マニュアルに沿って、市と連携しながら捜索を行っている。

平成 28 年度実績

台風接近による自主避難への対応準備：2 件

【 9/4（日）　平野台公民館・北コミュニティセンター　貸布団 5 組】
【10/4（火）　釜蓋公民館・北コミュニティセンター　貸布団 12 組】

7．身体障がい者福祉対策事業

身体障害者福祉協会や障害者施設団体連絡協議会等、当事者組織と連携を図りながら、ハンディを持つ人たちの社会参加を支援することを目的とし、各事業に取り組んでいる。

平成28年度実績

1 翔んでふれあって２０１６（障がい者大運動会）

2 重度障がい者社会参加事業

期　日　：平成28年9月15日（木）
場　所　：博多湾クルーズ・ベイサイドプレイス博多（交通手段：リフトカー・船）
参 加 者：14名（内職員2名、実習生2名）

◎［重度障がい者社会参加（リフレッシュ）事業参加者アンケート調査を実施］

3 大野城市身体障害者福祉協会への支援

共同募金配分金をとおし、その活動の助成を行なうとともに、事業の実施にあたりその活動の支援を行ないました。特に外出が困難な人に対しては、日帰りによるレクリエーションを実施しながら協働で事業を推進した。

4 障害者施設団体連絡協議会への支援

◇毎週土曜日に大野城まどかぴあで開設される、ほっとすぽっと「サンサン」の支援。
◇総合福祉センター1階、交流スペース「ほっとぴあ」の運営。
◇運営委員会の機能強化を図るため、毎月1回の定例会を開催し、研修会や各団体・施設との意見交換会などを行う。

10. 子育て支援事業

大野城市に転入して間もない親子や、子育てに悩む若い親の支援、保育所への遊具設置など、子どもたちが安心して遊べる場を提供し、子育てしやすい環境づくりを図っている。

平成28年度実績

1 子育て支援事業

支援内容：総合福祉センター及び福祉バス利用料免除や遊具の貸出
子育てサークル活動費補助(3サークル)

登録サークル：7 サークル(会員数 126名)

◇登録子育てサークル一覧

サークル名	主な開催場所	活動時間	会員数
Sunny!!	総合福祉センター	毎月1回土曜か日曜	10名
ぷちらいおん	中央コミュニティ	毎週火曜日(第3火曜休)	23名
チェリーKIDSクラブ	総合福祉センター	月1回程度	17名
キッズスマイルガーデンクラブ	南コミュニティ 総合福祉センター、他	毎週火曜か木曜日	15名
こあらくらぶ	乙金公民館	毎月第1金曜日	31名
ままいる	総合福祉センター	毎月第1・3金曜日	16名
りんごの会	総合福祉センター、他	月1～2回程度	14名

2 「子育てサークルだより」の発行

主旨：身近な子育て情報を発信し、安心して子育てできる環境を目指しています。

発行号：51号・52号・53号・54号・55号・56号

◇地域福祉推進委員会（福祉部会）が主催する子育てサロン

サロン名	地　域	開催場所	活動時間	平均参加者
あいあいくらぶ	牛頭区	公民館	第1水曜日　10:00～12:00(年10回)	9組
すくすくくらぶ	若草区	公民館	第2月曜日　10:00～12:00(年6回)	6組
うさぎっこ	平野台区	公民館	第1金曜日　10:00～12:00(年8回)	14組
しゃべりば　ぽこぽこ	月の浦区	公民館	第4金曜日 10:00～12:00	10組
だっこちゃん広場	南ヶ丘１区	公民館	第1･3木曜日　10:00～11:30	10組
こあら広場	南ヶ丘２区	公民館	第4水曜日　10:00～12:00	13組
あすなろサロン	上大利区	公民館	第4水曜日　10:00～11:30	30組
子育て支援サロン	下大利区	公民館	第2金曜日　10:00～12:00	12組
子育て支援教室	東大利区	公民館	第3月曜日　10:00～11:30	25組
瓦田おひさまサロン	瓦田区	公民館	第4月曜日　10:30～11:30	25組
ひよこっこ	中区	公民館	毎月第3水曜日　10:00～12:00	15組
おひさま広場	釜蓋区	公民館	毎月第1･3木曜日　10:00～12:00	12組
わかばっ子	乙金東区	公民館	毎月第1木曜日　10:00～12:00	12組
チューリップサロン	上筒井区	公民館	第2･4水曜日　10:30～11:30	15組
カンガルー広場	下筒井区	公民館	第1･3金曜日　10:00～12:00	12組
子育てにこにこサロン	山田区	公民館	第3火曜日　10:00～12:00	10組
さくらんぼサロン	雑餉隈町区	公民館	第3木曜日　10:00～12:00	10組
子育て支援サロン「らっこ」	栄町区	公民館	第4金曜日　10:00～12:00	6組
親子ふれあい広場	仲島区	公民館	第2･4水曜日　10:00～12:00	15組
はたづめっ子	畑詰区	公民館	毎週木曜日　10:00～12:00	10組

◇たけのこ支援主催のサロン

大野城市へ転入して来る子育て中の親子や他の子育てサークルに登録していない親子に対して、同じ仲間との交流を通して孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境と子育てに関する情報提供の場を目的としてその活動が行なわれている。

内　容	開催期日	会　場	参加者
子育てサロン	平成28年4月6日(水)	総合福祉センター多目的室	7組
子育てサロン	平成28年6月1日(水)	総合福祉センター多目的室	0組
七　夕　会	平成28年7月6日(水)	総合福祉センター大会議室	19組
講　演　会	平成28年8月10日(水)	総合福祉センター多目的室	13人
講　演　会	平成28年9月7日(水)	総合福祉センター多目的室	21人
子育てサロン	平成28年11月2日(水)	総合福祉センター多目的室	1組
クリスマス会	平成28年12月14日(水)	総合福祉センター大会議室	21組
子育てサロン	平成29年2月1日(水)	総合福祉センター多目的室	1組

3 保育所に遊具等の助成【乙金保育園】

共同募金配分金より毎年1ヶ所私立保育所へ遊具等の助成を(275,662 円)行なっている。

物　品：木製遊具

4 遊具の貸出状況

子どもたちの健やかな成長を支えること、また、地域での遊びの機会を支援することを目的に、社会福祉協議会に登録している子育てサークル及び各区公民館で開催される子育てサロンに遊具の貸出しを行っている。

○平成 28 年度貸出延件数　136 件

○貸出の多い人気の遊具

1.わくわくハウス	(71 回)
2.コースター(大)	(44 回)
3.ミニトンネル	(43 回)
4.ソフトブロック	(37 回)
5.ドレミマット	(30 回)

11. 児童育少年福祉対策事業

平成28度実績

1 福祉教育教材「ともに生きる」配布

対　　象 ： 福祉教育推進校(大野小学校)
配 布 数 ： 小学4年生 165名

2 大野城市子ども会育成会連絡協議会への助成

共同募金配分金をとおして、子ども会育成会では、「子どもが主役だ・地域で育てよう子どもたち」を主眼に、子どもの健全育成、地域(各単位子ども会)の発展に向けて、活動が展開されている。

3 保護司会への助成

共同募金配分金をとおして、保護司会では保護司信条である社会奉仕の精神をもって、過ちに陥った人たちの更生に尽くされる活動を行われている。

12. 福祉教育

1 小学校等への福祉教育

市内の小中学校、学童から総合的な学習の時間等を利用した福祉教育の依頼があった時に、職員やボランティア、障がい者など当事者の方と一緒に子どもたちに福祉やボランティアについて学習し、子どもたちひとり一人が"自分たちにできることは何か"を考えるきっかけにつながっている。

開催日	学校名・学年	内　　容	支援者
平成28年9月15日(木)	大利小学校4年 144名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成28年9月20日(火)	大野南小学校4年 158名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員1名
平成28年9月21日(木)	大利小学校4年 144名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員2名
平成28年9月28日(水)	大利小学校4年 144名	アイマスク体験	福祉委員1名
平成28年9月29日(木)	平野小学校3年 91名	車いす体験	福祉委員1名
平成28年10月3日(月)	大利小学校4年 144名	ボランティア活動について	ボランティア4名 福祉委員1名

開催日	学校名・学年	内　　容	支援者
平成28年10月4日（火）	平野小学校3年 91名	アイマスク体験	福祉委員2名
平成28年10月7日（金）	大野東小学校3年 104名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員2名
平成28年10月11日（火）	大野南小学校4年 158名	アイマスク体験	福祉委員1名
平成28年10月12日（水）	大野東小学校3年 104名	アイマスク体験	福祉委員3名
平成28年10月19日（水）	大野北小学校4年 106名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 福祉委員3名
平成28年10月20日（木）	大城小学校4年 67名	視覚障がい者の日常生活について アイマスク体験	視覚障がい者1名 福祉委員1名 民生委員1名
平成28年10月27日（木）	下大利小学校3年 55名	校区でのアイマスク体験・車いす体験・バリアフリーマップ作成 視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名、 福祉委員2名 民生委員4名
平成28年10月28日（金）	大野南小学校4年 158名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者1名 主任児童委員1名
平成28年11月1日（火）	下大利小学校3年 55名	校区に出て アイマスク体験・案内 車いす体験・案内 バリアフリーマップ作り	視覚障がい者1名 身体障がい者1名 施設職員2名 福祉委員2名 民生委員6名 主任児童委員1名
平成28年11月8日（火）	大野東小学校3年 104名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員1名
平成28年11月16日（水）	大野北小学校4年 106名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員3名
平成28年11月17日（木）	大野南小学校4年 158名	聴覚障がい者の日常生活について 手話体験	聴覚障がい者1名 手話の会6名 福祉委員1名
平成28年11月24日（木）	平野小学校3年 91名	視覚障がい者の日常生活について	視覚障がい者1名 福祉委員2名
平成28年12月2日（金）	大野北小学校4年 106名	視覚障がいがある方に録音を使って手紙を出す	朗読ボランティア10名 福祉委員1名
平成28年12月6日（火）	月の浦小学校3年 77名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者2名 付添い1名 福祉委員1名
平成29年1月23日（月）	大野北小学校3年 96名	「ふくし」とは	福祉委員3名

開催日	学校名・学年	内　　容	支援者
平成29年1月25日（水）	月の浦小学校3年 77名	聴覚障がい者の日常生活について 手話体験	聴覚障がい者１名 手話の会５名 福祉委員１名
平成29年1月26日（木）	大城小学校3年 85名	「ふくし」とは	福祉委員２名 民生委員１名
平成29年2月9日（木）	大城小学校3年 57名	車いすユーザーの日常生活について 車いす体験	身体障がい者１名 福祉委員１名 民生委員1名 福祉推進委員1名
平成29年2月22日（水）	大城小学校3年 85名	聴覚障がい者の日常生活について 手話体験	聴覚障がい者1名 手話の会4名

合計回数　26 回　　対象児童数 983　名

2　福祉教育基礎研修会　第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市内の小中学校の教職員を対象として、子どもたちの主体的な学びにつながる福祉教育とは何か、またその在り方を学ぶとともに、授業実践に活かすことを目的とした研修会を開催した。

期　　日　：平成28年8月24日（水）
場　　所　：総合福祉センター3階大会議室
参 加 者　：教職員　15名　民生委員児童委員　30名　福祉委員　21名
　　ゲストティーチャー　11名　その他　5名
内　　容　：講　演「学校、地域における福祉教育の推進」
　　講　師　大阪教育大学 教育学部 教養学科 准教授　新崎 国広 氏
共　　催　：大野城市教育委員会

◎［福祉教育基礎研修会参加者アンケート調査を実施］

3 大野城市福祉教育推進校の共同事業 第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

大野小学校の児童(4年生)を対象に、すべての人々が尊重される社会づくりと、相手の立場に立って考える思いやりの心を育てることを目的に、福祉教育教材「ともに生きる」を活用して福祉教育を行った。

平成28年 6月17日(金) 「公民館のおじさんありがとう」 講師:村田 寛 氏(瓦田区副区長)
平成28年 7月19日(火) 「高齢者の持つ知恵や技能」 講師:杉 正利 氏(おもちゃ病院ドクター)
平成28年 9月23日(金) 「アイマスク体験学習」
平成28年 9月29日(木) 「障害のある人の社会生活」 講師:南里 英治 氏
平成28年10月18日(火) 「車いす体験学習」
平成28年10月21日(金) 「障害のある人の生活を支える」 講師:石川 茂 氏(市福祉課)
平成28年11月 1日(火) 「クローバープラザ施設見学」(2クラス)
平成28年11月 2日(水) 「クローバープラザ施設見学」(3クラス)
平成29年 3月 8日(水) 「わたしにできることってなんだろう？」「ボランティアセンター見学」

13. 父母子福祉対策事業

ひとり親家庭の相談に対する支援(母子会会議での助言や事業等)を行なっています。

平成 28 度実績

1 大野城市母子寡婦福祉会への支援

共同募金配分金をとおして、大野城市母子寡婦福祉会では、日常における母子家庭の生活の安定等を目指して、自立促進につながる総合的なひとり親家庭の施策を充実するための活動が展開されている。

14. 在宅介護者支援事業

在宅で高齢者等の介護をされている家族を対象に、日帰りのリフレッシュ事業などを開催し、介護者同士のつながりをつくることなどを目的として事業を実施している。

平成 28 年度実績

1 在宅介護者のつどい

主 旨: 市内で在宅介護をしている方等を対象とする。日帰り旅行を通して、意見交換を行う為の交流の場を作り、それぞれの気分転換を図り、今後の在宅介護の在り方について考えていただくことを目的とする。
期 日: 平成29年3月17日(金)
場 所: 糸島方面
参加者: 23名(内、初参加者10名)

2 在宅介護者家族の会「花ふぶき」支援

団体役員の方の諸事情により、活動を休止されています。話し合いを重ねながら、今後の会の取り組みの支援を行なっていきます。

15. 平成２８年度共同募金運動

多くの方々にご協力頂いた共同募金は、地域の福祉活動費や社会福祉協議会が行なう様々な福祉事業に活かされている。

平成 28 年度実績

1 共同募金啓発チラシデザイン募集

内　容 ： 啓発用チラシのデザインを、小学校4年生～6年生から募集し、入選作品を社協だよりの折込みチラシとして全戸に配布。今回、月の浦小、大城小、下大利小、御笠の森小の児童を対象として募集し、127作品の協力を頂いた。入選作品は、運動期間中、総合福祉センターや各コミュニティセンターに展示した。

応募件数 ： 127件

最優秀作品 ： 月の浦小学校5年　川口拓音さん

2 共同募金運動キャッチフレーズ（標語）募集

内　容 ： 一般市民より大野城市独自の募金運動のキャッチフレーズ(標語)を募集し、啓発活動に活用した。

28年度キャッチフレーズ ：「愛の羽根　やさしさ光る　大野城」（小寺光雄さんの作品）

応募件数 ： 22件

（単位：円）

	平成28年度		平成27年度	
	目安額	実績額	目安額	実績額
戸別募金	14,610,000	14,979,998	14,730,000	14,478,775
企業募金	2,691,000	2,584,929	2,800,000	2,664,652
街頭募金	343,000	386,189	331,000	339,956
職域団体募金	824,000	767,111	820,000	816,225
バッジ等募金	605,000	592,451	598,000	599,275
個人募金	402,000	350,552	450,000	401,270
イベント募金	87,000	91,290	72,000	86,360
自販機売上募金	457,000	579,702	438,000	452,046
募金箱設置協力	381,000	348,977	326,000	377,144
寄付つき商品による募金	50,000	55,746		
合計	20,450,000	20,736,945	20,565,000	20,215,703

3 寄付つき商品

大野城市内の事業所に協力いただき、共同募金(寄付)がついた商品の開発を行った。

商　　品　：　かりんとう
協力企業　：　有限会社天龍堂製菓(大野城市仲畑)
募 金 額　：　55,746 円(2,934 個)

4 支会理事会開催状況　(理事総数　１６名)

開催年月日			議　　題		出席者
平成28年	9月1日	第1回	第 1 号議案	福岡県共同募金会大野城市支会支会長の互選について	15名
			第 2 号議案	福岡県共同募金会大野城市支会副支会長の互選について	
			第 3 号議案	平成 28 年度共同募金運動実施計画案について	
			第 4 号議案	平成 28 年度大野城市共同募金運動キャッチフレーズ選考について	
	12月16日	第2回	第 5 号議案	福岡県共同募金会大野城市支会理事(3名)の変更について	16名
			第 6 号議案	福岡県共同募金会大野城市支会副支会長の互選について	
			第 7 号議案	共同募金配分金の助成金増額の要望について	
平成29年	3月16日	第3回	第8号議案	共同募金配分金の助成金増額の要望について	15名
			第9号議案	平成29年度福岡県共同募金会大野城市支会資金収支予算案について	

5 平成２８年度赤い羽根共同募金のつどい in おおのじょう

期　　日　：　平成28年9月10日(土)
会　　場　：　大野城市総合福祉センター3階大会議室
参 加 者　：　115人

6 企業募金推進会議

地　区	期　　日	会　　場	参加者
北地区	平成28年11月2日(水)	北コミュニティセンター2F研修室	15名
南地区	平成28年11月7日(月)	南コミュニティセンター2F視聴覚室	18名
中央地区	平成28年11月10日(木)	中央コミュニティセンター2F視聴覚室	8名
東地区	平成28年11月11日(金)	東コミュニティセンター2F視聴覚室	22名

16. 福祉機器貸出事業

在宅で生活するために車いすや電動ベッドなどを必要とする人で、公的制度を利用する事ができない場合、短期間の貸出を行っている。

平成28年度実績

貸出延件数 ： 車いす(120件)、電動ベッド(5件)

17. 福祉機器リサイクル事業

不要になった電動ベッドや車いすなどの福祉機器を必要としている方に斡旋し、まだ利用可能な福祉機器を活かすことを目的としている。

平成28年度実績

登録件数 ： 3件(電動ベッド1　車いす1　その他1)
斡旋件数 ： 3件(電動ベッド1　車いす1　その他1)

18. 移送サービス事業

著しく歩行が困難で車椅子等を利用している人や、寝たきりの状態で既存の交通機関を利用することが困難な人に対して、社会参加のひとつの手段として、リフトカーを運行し、障がい者や高齢者の福祉の増進を図ることを目的としている。より多くの方の需要にこたえることができるよう、日本財団より助成を受け、平成22年2月からは車両を1台追加し、2台の運行でサービスの充実を図った。

平成28年度実績

利用登録者数 ： 43名

移送サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働日数(日)	15	19	20	23	20	19	20	18	18	15	21	20	228	19
利用延人数（人）	23	35	32	40	36	34	33	29	26	30	41	40	399	33

◎［移送サービス利用者アンケート調査を実施］

19. ハンディキャブ貸出事業

車いすを利用している人や車いすを利用しないと外出が困難な人に、車いすに乗ったまま乗車できる軽車両（ハンディキャブ）の貸し出しを行う事業で、ハンディキャブを利用する事で障がい者や高齢者の外出を容易にし、家族の負担を軽減することを目的としています。また、運転者がいない場合、ボランティアセンターにおいて運転ボランティアのコーディネートを行っている。

平成28年度実績

利用登録者数: 36名
運転ボランティア登録者数 ： 8名

ハンディキャブ貸出事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼動回数	19	16	16	22	26	13	17	22	15	16	18	26	226	18.8
運転ボランティア稼働人数	5	4	4	4	4	3	6	5	5	5	4	4	53	4.4

20. 福祉食事サービス（市受託事業）

在宅日常生活支援事業として、ひとり暮らしの高齢者、障がいを持った方などに１年３６５日食事(昼・夕)を宅配しながら安否確認・見守りを行っている。同事業では、ボランティアグループ「ききょう」の作成による絵手紙を毎月添付している。

平成28年度実績

利用者数　：　月平均71.3名
延 食 数　：　21，746食
延利用者数　：　856名

※福祉食事サービス利用状況の詳細については、巻末資料「別表5 平成28年度福祉食事サービス利用状況」P 69参照

21. 福祉バス運行事業

福祉バス利用により、地域住民の福祉活動を増進させるため、福祉バス利用申し込み受付と運行管理を行なう。福祉活動を目的とした視察研修等に利用されています。

平成28年度実績

福祉バス運行状況　乗車27人乗り（マイクロバス）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
運行回数(回)	6	18	22	16	7	19	20	18	7	3	8	16	161	13
延利用者数(人)	147	364	431	291	109	380	416	367	145	50	140	303	3,143	261

＊利用団体状況
(1)福祉推進委員会、コミュニティ福祉部会、区長会、民児協　68 回
(2)社協が事業を行う上で必要とする場合　9 回
(3)行政が事業を行う上で必要とする場合　15 回
(4)社会福祉団体が福祉活動を行う上で必要とする場合　19 回
(5)福祉に寄与する団体等で使用目的、及びその活動の内容を勘案し会長が必要と認めた場合　43 回

22. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

教育支援費は昨年度に比べて申込・決定件数ともに約21%減少しているが、貸付額は約5%しか減少していない。これは平成28年2月から貸付上限額が1.5倍まで引き上げられたことによるものと考えられる。これにより、在学中の学費が不足するという状況はかなり少なくなったというメリットもあるが、子どもの借金が多くなるというデメリットもある。教育支援資金の相談の際、最初から1.5倍を前提とした借入申込額にならないよう、学費の不足部分がある場合可能な範囲で自己負担いただきながら、過度な貸付にならないように注意していかなければならない。

平成28年度実績

◇生活福祉資金相談・貸付状況（※相談件数は初回相談時を標記）

種別／内容		相談件数	申込件数	決定件数	貸付額
総合支援資金	生活支援費	5	1	1	600,000円
	住宅入居費	0	0	0	0円
	一時生活再建費	0	0	0	0円
教育支援資金	就学支度費	24	23	22	7,840,000円
	教育支援費	24	23	22	29,445,000円
福祉資金	生業	1	0	0	0円
	技能修得	0	0	0	0円
	葬祭	0	0	0	0円
	転宅	8	3	3	666,000円
	福祉用具購入	0	0	0	0円
	障がい者自動車購入	2	1	1	2,500,000円
	住宅改修	1	1	0	0円
	療養・介護	3	1	1	250,000円
	災害援護・国年・エアコン・必需品	4	1	1	72,000円
	緊急小口資金	55	44	43	2,639,000円
不動産担保型生活資金		8	0	0	0円
合計		※135	98	94	44,012,000円

◇臨時特例つなぎ資金相談・貸付状況

種別／内容	相談件数	申込件数	決定件数	貸付額
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0円
合計	0	0	0	0円

23. 大野城市生活支援体制整備事業（市受託事業）

高齢者の在宅生活を支えるため、社会福祉法人やＮＰＯ法人・ボランティアなど、生活支援活動の担い手となる団体相互の情報共有と協働を働きかけ、互助活動が活性化した地域づくりを推進することを目的とした事業である。生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす「生活支援コーディネーター」を配置し、地域包括ケアシステム理解のためのセミナーの開催や、社会資源調査を行っている。また、大野城市地域包括支援センターと４地区コミュニティの在宅介護支援センターに配置されている生活支援コーディネーターと毎月１回の連絡会の開催や、大野城市における高齢者の在宅生活を支える生活支援体制を整備するための研究会を設置している。

1 大野城市生活支援体制整備研究会の開催

大野城市が目指す地域の姿を共有し、地域包括ケアシステムについての啓発活動や、誰もが住みやすい大野城を目指した研究を行っている。

開催回数:5回

研究会委員:11名
・区長(1名)・民生委員(1名)・福祉委員(1名)・介護保険事業者連絡協議会(1名)
・社会福祉法人(施設)(1名)・シニアクラブ(1名)・ボランティア連絡協議会(1名)
・シルバー人材センター(1名)・医療関係者(1名)・企業(1名)・識見を有する者(1名)

内容:大野城市が目指す地域の姿について、市内の社会資源について、啓発資料作成について

開催年月日	議題
第1回　平成28年　9月29日(木)	委嘱状交付・大野城市生活支援体制整備事業について
第2回　平成28年10月31日(月)	地域包括ケアシステムの啓発資料の作成について
第3回　平成28年12月　6日(火)	これまでにまとめた大野城市の社会資源について
第4回　平成29年　3月　1日(水)	視察研修の共有
第5回　平成29年　3月29日(水)	地域包括ケアシステムの啓発資料の作成について

2 大野城市生活支援体制整備研究会委員の視察研修

大野城市における高齢者の在宅生活を支える協議体設置をイメージするために、関東地方への視察を行った。２班に分かれて三鷹市・武蔵野市(東京都)と松戸市・柏市(千葉県)を市職員と社協職員同行で視察した。

視察地	日にち	参加者数	視察先
三鷹市・武蔵野市(東京都)	平成29年2月2日(木) 平成29年2月3日(金)	10名	三鷹市役所 三鷹市社会福祉協議会 武蔵野市役所
松戸市・柏市(千葉県)	平成29年2月16日(木) 平成29年2月17日(金)	7名	松戸市役所 柏市社会福祉協議会

3 生活支援コーディネーター連絡会の開催

地域の社会資源調査を行い情報の共有や整理、また、生活支援コーディネーター間の情報交換を行っている。

開催回数:10 回

内容：市内の社会資源調査及び社会資源の整理、啓発資料の作成

4 地域包括ケアシステムについてのセミナー開催

各コミュニティ運営委員会と共催により、4地区コミュニティセンターにて、区役員や福祉推進委員等を中心に、地域包括ケアシステムについての啓発セミナーを開催した。

地区	日にち	参加者数	内　容
中央地区	平成28年7月15日(金)	103名	「地域に広げよう“お互いさま”の生活支援」 ～地域包括ケアシステムの推進と 住民主体の助け合い活動の役割～ 講師：筑紫女学園大学 教授　山﨑　安則　氏
東 地 区	平成28年8月8日(月)	60名	
南 地 区	平成28年8月26日(金)	86名	
北 地 区	平成28年9月14日(水)	81名	

職員が出向いて、地域団体等への地域包括ケアシステムについての勉強会を開催した。

地域団体	日にち	参加者数	内　容
つつじヶ丘区シニアクラブ	平成28年10月27日(木)	32名	「住んで良かった 我がまち大野城を目指して ～地域包括ケアシステムの推進～ (生活支援体制整備事業を中心として) ～皆さまに知って頂くために～」
中区みまもり交流会	平成29年2月4日(土)	48名	
東地区民児協議会	平成29年2月15日(水) 平成29年3月15日(水)	21名	
大野城市シニアクラブ役員会	平成29年2月16日(木)	32名	

5 啓発チラシの作成

地域包括ケアシステムについての理解を図るため、大野城市生活支援体制整備研究会の中で検討しながら市民向け啓発チラシを作成した。

24. 被災地支援活動

大野城市社会福祉協議会では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災にて被災し、地震、津波、原発事故、風評の被害がある福島県南相馬市を継続的に支援している。“忘れない”を合言葉に寄り添い、支援を続けている。

平成28年度実績

1 福島県（南相馬市）応援ツアー

東日本大震災後の現地を訪れ、観光等を通して応援するための取り組みとして、5回目となる「東北応援の旅～私たちは忘れない！～」を実施した。

企画名 ： 大野城市社会福祉協議会プロデュース第5弾
「東北応援の旅～私たちは忘れない！～」
期　日 ： 平成28年7月6日（水）～8日（金） 2泊3日
行き先 ： 福島県南相馬市（南相馬市社会福祉協議会職員と前会長の同行により小高区などを視察）
宮城県東松島市（観光支援：松島湾遊覧）
栃木県日光市（観光支援：日光東照宮・華厳の滝）

参加者 ： 27名（うち職員2名、添乗員1名）

2 被災地応援「福島県応援ショップ」の運営支援

総合福祉センター1階ロビーにて、「福島県応援ショップ」として福島県南相馬市の特産品等を中心に販売を行っている。購入を通した支援を行いながら、「つながり」を大切にし、息の長い応援を継続する。

24-1 熊本地震における被災地支援活動

大野城市社会福祉協議会では、平成28年4月14日及び16日に発生した熊本地震にて被災した被災地の支援活動を行いました。

平成28年度実績

1 熊本県内の災害ボランティアセンターへの職員派遣

九州ブロック各県・政令市社協による熊本県内の災害ボランティアセンター運営等支援が始まり、大野城市社会福祉協議会は、運営支援者として熊本県益城町災害ボランティアセンター及び西原村災害ボランティアセンターへ入りました。

支援場所	活動日	人数
益城町災害ボランティアセンター	5月2日～5月6日	1名
益城町災害ボランティアセンター	5月20日～5月22日	1名
西原村災害ボランティアセンター	5月30日	2名

2 被災地への支援物資の提供

4月18日から4月24日まで、災害支援NPOが行った支援物資の募集及び支援物資集積場所として総合福祉センターを提供しました。

受付物資：ペットボトル飲料水、保存食、生理用品、トイレットペーパー
オムツ（乳児用・大人用）

3 福祉避難所への支援

福祉避難所へホームヘルパーの派遣を行いました。

支援場所	活動日	人数
御船町観光交流センター	5月26日～5月28日	2名
御船町観光交流センター	5月28日～5月30日	1名

4 熊本県・大分県への被災地支援義援金

多くの市民の皆さまより多額の義援金をお寄せいただきました。皆さまからお預かりした義援金は、被災地に設置された義援金配分委員会を通じて被災者へ分配されます。

義援金実績　：　２，４６３，８３１円　（平成２９年３月３１日現在）

Ⅲ. ボランティアセンター事業

ボランティア活動推進 …… 42
声の広報 …… 48

25. ボランティア活動推進

ボランティア活動に関する相談、ボランティアコーディネート件数ともに昨年度と比較すると約 100 件近く増となった。ボランティアエントリーシステムについては、システムの構築は完了した。今後は、エントリーするプログラムの情報収集・開発の充実に努めなければならない。

平成 28 年度実績

1 ボランティア活動相談・コーディネート状況

ボランティア活動に関する相談件数　：198件

①活動希望、情報収集に関する相談件数 ：174件

②ボランティアニーズに関する相談件数 ：24件

ボランティアコーディネート件数 ：196件(うち運転ボランティアは53 件)

コーディネートを行ったボランティア活動内容

・高齢者施設等での活動(マジック手品、マッサージボランティア、太鼓ボランティア、将棋ボランティア)

・学童保育所での活動(マジック手品、バルーンアートボランティア、手話教室)

・福祉推進委員会が行うミニデイでの活動(マジック)

・ボランティアグループでの活動(点字、傾聴、にほんご教室、朗読、おもちゃの図書館、おもちゃ病院)

・福祉団体事業での活動(イベント、野外活動)　・障がい児預かり事業ボランティア

・運転ボランティア　・障がい児者とのふれあいの旅ボランティア　・災害ボランティア

・託児ボランティア　・ひとり親家庭学習支援ボランティア　・切手整理ボランティア

・新規ボランティア団体登録　・地域子育てサロン (※ボランティア保険手続き１３８件)

2 配信システムによるボランティア情報等の提供

携帯電話やパソコンへの配信システムを構築(グループ別にて配信可)し、ボランティアセンター登録者や福祉委員の方々へ情報の提供を行っている。

登録者数:111名　配信件数:7件

内容:食料品の寄附募集 、ボランティアエントリーシステム案内、災害ボランティアバス運行事業参加者募集、福祉団体野外活動ボランティア募集、ハンディを持つ方たちとのレクリエーションボランティア募集

3 ボランティアセンター運営委員会開催：５回

運営委員（４名）：民生委員経験者、ボランティア連絡協議会、障害者団体連絡協議会、有識者各１名

開催年月日			議　題	出席者
平成28年	6月15日	第1回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて	4名
	9月20日	第2回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて	3名
	12月21日	第3回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて ・災害ボランティアフォローアップ講座について	4名
平成29年	2月21日	第4回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて ・災害ボランティアフォローアップ講座について	4名
	3月11日	第5回	・おおのじょうボランティアのつどい	4名

4 おおのじょうボランティアのつどい　第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

ボランティアセンターを拠点に活動しているテーマ型ボランティアと、各地域で活動している地縁型ボランティアが一堂に会し、情報提供・情報交換、情報共有の充実を図るため、おおのじょうボランティアのつどいを開催した。地縁型ボランティアやテーマ型ボランティアの対話の場をつくり、お互いのことを知ることから始めることを目的としている。また、この日は東日本大震災発生から６年を迎える日であり、14時46分には参加者全員で黙祷を行った。

開催日時	平成29年3月11日（土）　13:30～16:00
場　所	大野城まどかぴあ多目的ホール
参加人数	92名
ファシリテーター	加留部　貴行　氏
対象者	ボランティアセンターに登録しているボランティアグループ及び 個人登録ボランティア、地域福祉活動ボランティア

5 災害ボランティアフォローアップ講座 第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

災害ボランティア養成講座を受講された方を対象に、フォローアップ講座を行った。

開催日時	平成28年11月30日（水） 19:00～20:30
参加人数	災害ボランティア養成講座受講者：8名 社協職員：3名
内 容	・報告 熊本地震と災害支援について ・情報交換 今後フォローアップで学んでいきたいことについて

開催日時	平成29年2月28日（火） 19:00～20:30
参加人数	災害ボランティア養成講座受講者：10名 社協職員：2名
内 容	【グループワーク】：災害対応カードゲーム「クロスロード」

開催日時	平成29年3月12日（日） 10:00～15:00
参加人数	災害ボランティア養成講座受講者：6名 社協職員：3名
内 容	【講話】：熊本地震に伴う学校開放について 【講師】：熊本県益城町立広安西小学校 教頭 田中 壮介 氏 【場所】：大池公民館・東コミュニティセンター （東地区総合避難訓練への参加として開催）

6 被災地での災害ボランティア活動希望者への情報提供・コーディネート等

大野城市民の方々で被災地においてボランティア活動を希望される方への情報提供や、ボランティア保険の手続きを行い、被災地にて注意すべきアドバイス等を行いながら送り出しを行った。

被災地での活動人数：１６５名（大野城市社協にて保険手続きを行われた方の人数）

7 災害支援ボランティアバスの運行事業

ボランティアを募集して社協福祉バスを運行し、熊本県益城町災害ボランティアセンターを通して被災地にて災害支援ボランティア活動を行った。

活動日	人数	活動内容
5月29日（日）	18名	避難所での清掃・物資仕分け等
6月18日（土）	14名	集積所でのガレキ運搬・仕分け
6月27日（月）	11名	避難所での清掃・物資運搬等

8 ボランティアエントリーシステムの構築

第１期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

ボランティア活動へ気軽に「エントリー（応募）」することができる仕組みを創り、ボランティア活動メニューを開発することにより、新たな人材がボランティア活動を始める機会を提供するためのボランティアエントリーシステムの構築に向けて、市内のボランティアの受け入れを行っている福祉施設やボランティア団体にボランティアエントリーシステムの趣旨説明を行い、及び気軽にできるボランティア活動メニューづくりを行った。また、ホームページから簡単に申込ができるようなツールとしてのシステム構築を行い、試行的に運用を行いボランティアの募集を行った。今後は随時気軽に参加できるようなボランティア活動メニューを増やしていかなければならない。

募集したボランティア活動メニュー

- 熊本地震被災地支援
- ひとり親家庭のための学習支援
- ふくしフェスティバルでのイベント
- ウォーキング付き添い
- ハンディを持つ方々とのレクリエーション
- 赤い羽根共同募金啓発

9 ボランティアセンター登録

★ボランティア登録者数（団体登録者 663名 個人登録者 200名）

★ボランティア団体登録状況

総合福祉センター1階のボランティアセンターを拠点に活動しているボランティアグループの支援を行うとともに、ボランティアセンターはボランティアのたまり場として、なくてはならないスペースであり、コピー機や大型プリンターは各種団体や地域の利用も増えている。また、ボランティア連絡協議会は、ふれあいの旅等において常に協働するとともに、共同募金配分金をとおしてその活動への助成を行っている。

大野城市ボランティア連絡協議会　構成数10グループ

グループ名	活動内容	会員数
大野城手話の会	手話講習会の開催、手話通訳者の派遣、聴覚障がい者との交流会	30名
点訳サークル あゆみの会	点訳講習会の開催、各種点訳活動、視覚障がい者との交流会	12名
朗読の会 文鳥	朗読講習会の開催、社協だよりや図書の吹き込み、視覚障がい者との交流会	28名
スニーカー	手をつなぐ育成会の支援、知的ハンディを持つ方々とのレクリエーション活動	12名
介護ボランティア ききょう	特別養護老人ホームでのお手伝い、食事サービス利用者への絵手紙づくり	16名
おもちゃの図書館 あいあい	障がいを持つ子どもも持たない子どもも共に遊ぶおもちゃの図書館の開館、手作りおもちゃの作成	18名
拡大写本 虹の会	弱視の方から要請のある図書の拡大写本づくり、視覚障がい者との交流会	8名
車いすダンス アミーゴス	車いすダンスの普及活動、車いす利用者との交流会	73名
運転ボランティア むつわ	社会福祉協議会のハンディキャブ貸出事業における車両の運転	8名
大野城要約筆記の会 ぴあ	聴覚障がい者への文字による同時通訳活動、要約筆記奉仕員養成講座の開催	11名
	計	216名

ボランティアセンター登録グループ　19グループ

グループ名	活動内容	会員数
まちづくり懇談会	市民サイドからのまちづくり研究やふるさとづくり活動	14名
NPO法人 アジア女性センター	子どもと女性の人権を守るためのサポート事業、海外支援、交流事業、提言、ネットワーク事業（調査、研究）	150名
グループファンタジア	施設や敬老会等でのマジックボランティアやマジックによる各種団体との交流活動	10名
創人エイサー守破離太鼓	施設や老人会、地域でのイベント等での演舞	30名
国際交流協会	コミュニティ活動等を活かした国際交流の推進	79名
子育てサポーター たけのこ支援	大野城市に引っ越してきた親子等を対象に子育てサロンを開催	11名
おもちゃ病院大野城	壊れたおもちゃの修理	5名
花の芽クラブ	障がいのある人とない人が一緒に楽しめる風船バレーボールを通しての交流活動及び普及活動	21名
ボランティアグループ りんごの会	近隣の公民館や福祉施設等で唄や踊り、楽器演奏などを通しての慰問活動	5名
大野城傾聴ボランティア 「ダンボ」	大野城市内の施設等においての傾聴ボランティア活動	24名
大野城学習支援塾	生活困窮家庭の子どもに対する学習支援や保護者への進学助言を行う	5名
おやのかい MIRAI	発達障害の子どもや保護者、発達障害に理解ある者が会員となり、発達障害の子どもたちが安心して就労できる企業や事業所を訪問して増やす活動	20名
にほんご教室フレンズ	留学生等の外国人に日本語を教え、学習することをとおして国際交流を図り会員相互の理解を深める活動	7名
しゃくなげ会	施設等においてギターや三味線、大正琴などの楽器を使って季節の童謡や歌謡曲、ナツメロ音楽を演奏	6名
マジック雅	マジックを通した地域の方々との交流や、地域社会の活性や社会福祉の情操を目指した活動	14名
LaLaLa 音楽レクリエーション	介護予防や認知症予防のための音楽療法やレクリエーションの要素を取り入れた音楽や、子どもを対象にした音とリズムと歌を楽しむ活動	8名
ららら♪ シニアネットオーケストラ	施設等での童謡・唱歌・夏メロなどの昔懐かしい曲の生演奏活動	20名
いきいき健康レクササイズ	レクリエーションの要素を取り入れた椅子に座ったままできる運動（エクササイズ）や昔懐かしい歌を取り入れた運動	6名
きてみん！大野城	不登校・貧困等の子供の居場所づくりと食事・学習支援	12名

計　447　名

26. 声の広報

目の不自由な方や寝たきりの方に、青年団体連絡協議会が市の広報を、朗読の会「文鳥」が社協だより、季節のたより『紙飛行機』、希望図書等をカセットテープに吹き込み、自宅に届けている。

平成28年度実績

回　　数:　24回
延べ利用者数:　10名

Ⅳ. 総合相談事業

総合相談事業 …… 49

27. 総合相談事業

地域住民の悩みを一緒に考え、よりよい解決策をさがし、問題解決を図るため、弁護士による専門相談員や常勤相談員による助言を行う場を総合福祉センター内に設けている。

平成 28 年度は、地域住民の身近な地域で相談事業を実施するため、新たな取り組みとして 2 地区のコミュニティセンターにおいて、弁護士による相談事業を実施した。

◇市の広報掲載内容

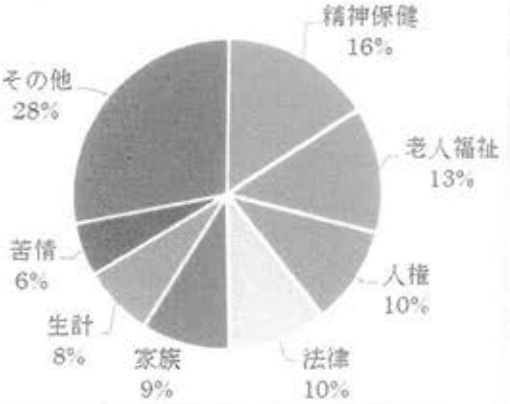
問社会福祉協議会 ☎(572)7700 ふくし何でも相談 福祉の各種相談を随時受け付けています。 電話相談可☎(501)3311 ※正午から午後1時までは昼休み、土・日・祝日・年末年始は休み	弁護士による電話法律相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談 日毎月第 2 木曜日午前 10 時～正午 (受付は午前 11 時 40 分まで) ☎(501)7830	弁護士による心配ごと相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談 日◇第 1～3 火曜日午前 10 時～正午 ◇第 4 火曜日午前 10 時～午後 3 時 ※受付は午前 9 時～、 午後 0 時 45 分～ 事前予約可(午前 11 時～正午)

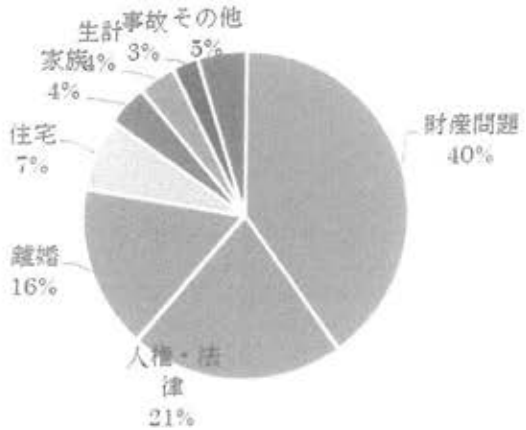
平成 28 年度実績

1 相談内容・状況等

相 談 員 ： 社協担当職員1名、弁護士 6 名　　協 力 ： 民生委員4名
内　　容 ： 心配ごと相談(第1・2・3・4火曜日)　231 件(58 回)
電話法律相談(第2木曜日)　45 件(11 回)
ふくし何でも相談(月～金曜日)　107 件
南コミュニティセンター法律相談　2 件（平成 28 年 7 月 30 日開催）
東コミュニティセンター法律相談　4 件（平成 28 年 8 月 6 日開催）
ふくしフェスティバル　法律相談　3 件（平成 28 年 11 月 27 日開催）

【 ふくし何でも相談内容 上 位 】		【 弁護士法律相談 上位 】	
① 精神保健	16%	① 財産問題	40%
② 生計	13%	② 人権・法律	21%
③ 人権・法律	10%	③ 離婚	16%





＊経済の不安定からの生活不安が引き金になっておこる相談事例がふえている。また、実際に弁護士に委任した方がよいと思われる複雑な案件も多くなっている。場合によっては、傾聴・アドバイスにとどまらず他の機関が行っている支援へと確実につなぎ、相談者のよりよい生活へむけて尽力している。

2 相談員懇談会の開催

市民が活用しやすい相談事業のあり方を協議し、改善点の確認を行い、相談事例の情報交換を行った。

期　日	参 加 者
平成 29 年 1 月 31 日	弁護士 6 名　相談関係職員

3 地域のニーズに応えるための協議・確認事項

他機関においての各種相談との区別化を図り、法律相談以前の身の上相談を含む幅広い相談に対応している。広報についても担当弁護士と連携を図りながら積極的に取り組み、地域の方に広く利用していただけるよう環境づくりに努めている。

Ⅴ．介護サービス事業

介護サービス事業　…… 51

28. 介護サービス事業

介護サービス事業については、地域福祉活動の視点をもって社協らしい介護サービス事業を展開すべく職員の資質向上に努めた。

区分	施　策	活動内容
介護保険事業	指定居宅介護支援事業	介護支援専門員によるケアプランの作成(要介護及び総合事業)
	指定訪問介護事業	訪問介護員が居宅に伺い、身体介護・生活援助のホームヘルプサービスの提供 ＜実施＞月～日曜日　7:00～24:00
	指定訪問入浴介護事業	看護職員等が居宅に移動入浴車で伺い、浴槽を搬入し入浴介護サービスの提供 ＜実施＞月～日曜日　8:30～21:00
総合事業	訪問型サービス国基準	訪問介護員が居宅に伺い、主に生活援助のホームヘルプサービスの提供 ＜実施＞月～日曜日　8:30～17:00
	訪問型サービスＡ	訪問介護員が居宅に伺い、主に生活援助のホームヘルプサービスの提供 ＜実施＞月～日曜日　8:30～17:00
受託事業	高齢者ホームヘルプサービス事業	介護保険非該当者・介護保険の補完者への生活援助等のホームヘルプサービスの提供
	難病患者等ホームヘルプサービス	難病患者等への生活援助等のホームヘルプサービスの提供
	地域生活支援事業	平成 18 年 10 月より新設された障がい福祉サービスの一部 ・移動支援 移動に支援を必要とする方(視覚障がい者等)を対象とした移動支援サービス。屋外での移動が困難な障がい児(者)に対して、学校や通所施設への送迎や外出の訓練等の際に、学校等へ送迎も行います ・訪問入浴サービス 身体障がい者で自力の入浴ができない方への訪問入浴サービス
	訪問入浴サービス事業	身体障がい者の方(65 才未満)・介護保険外の高齢者の方への移動入浴車による入浴介護サービスの提供
	タイムケア事業	障がいのある 18 才以下の子どもに放課後の活動場所を提供するとともに、保護者等の一時的休養を確保するための一時預り事業 ◇すこやか交流プラザ等におけるタイムケア事業 ＜実施＞ 火曜日　15:00～18:30 第 1・第 3 土曜日、第 4 日曜日　9:30～17:30 冬休み、春休み期間中の火、金曜日　9:30～17:30 ◇特別支援学級が設置されている、小中学校内における(ヘルパー等を派遣する)タイムケア事業 ＜実施＞ 長期休暇中や学校休校日を除く月～金曜日　学校終業時～17:00
	学童保育ホームヘルパー派遣	学童保育所における障がい児に対するホームヘルパー派遣
	赤ちゃんホームヘルプサービス	基本的には生後 12 週間以内の赤ちゃんのいる家庭を対象に、日常支援が必要な場合にホームヘルパーを派遣する

区分	施策	活動内容
受託	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）	生後4か月未満の乳児のいる家庭に訪問し、育児に関する不安や悩みの聴取・相談、親子の心身の状況や養育環境の把握、子育て支援に関する情報提供を行う
障害福祉サービス	居宅介護	ホームヘルプサービスと呼ばれているサービスで、自宅で入浴・排泄・食事などの介護を行います
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者で、常に介護が必要な障がい者に、自宅で入浴・排泄・食事の介助を行います。外出時の移動を助け、移動中の介護も行います
	行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な障がい者に、行動するときの危険を回避する援助や外出時の移動の補助を行います
	同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する者に、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排泄・食事等の介護等を行います
	指定特定相談支援 指定障害児相談支援	サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者・児の自立した生活を支え、障がい者・児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行います
制度外	ほっとサポート	①制度上（障害者総合支援法、介護保険等）のホームヘルパー派遣において制限をうける人 ②ホームヘルパーの派遣をうけないと日常生活に支障をきたす人を対象とするサービス。地域の中で安心して暮らせるように、日常生活に必要な介護等の支援を行うことを目的とした大野城市社会福祉協議会独自の事業

平成28年度実績

1 介護サービス状況

巻末資料「別表2 平成28年度 介護サービス状況」P 63～65 参照

2 制度外介護サービス状況

巻末資料「別表3 ほっとサポート状況」P66～67 参照

3 介護サービス研修会

巻末資料「別表4 平成28年度 介護サービス研修会開催状況」P68 参照

4 実習生受け入れ状況

◇平成28年度 訪問介護実習生受け入れ状況

団体名		人数
麻生医療福祉専門学校	7/14～7/15	1
	8/2～8/3	1
	8/4～8/5	1
	8/9～8/10	1
	8/16～8/17	1
九州大谷短期大学	2/15～2/17	1
合計		6

29. 総合福祉センター

総合福祉センター1階の交流スペース「ほっとぴあ」、また「ボランティアセンター」は、毎日多くの市民の方に利用していただいております。また、2階、3階会議室等においては、年度ごとに机等の器具の買い替えや改修工事を行い、より利用しやすいよう環境整備に努めている。

今後も、市民に開放された、誰もが利用しやすい福祉センターとして、また本来の目的である福祉活動の拠点として運営を行っている。

平成28年度実績

	社 協		①福祉団体等		②行政関係		一般有料		合 計	
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	16	274	111	1,527	6	146	20	742	153	2,689
5月	16	167	112	1,755	17	342	25	994	170	3,258
6月	37	473	140	1,794	18	422	24	892	219	3,581
7月	17	342	126	1,831	15	335	27	1,144	185	3,652
8月	20	578	104	1,509	15	388	16	606	155	3,081
9月	33	520	118	1,717	13	314	34	1,322	198	3,873
10月	30	797	113	1,326	10	258	24	1,265	177	3,646
11月	20	394	111	1,452	13	545	31	1,381	175	3,772
12月	21	333	99	1,392	12	383	18	808	150	2,916
1月	19	195	98	1,298	11	177	19	1,013	147	2,683
2月	23	229	117	1,626	15	315	29	1,190	184	3,360
3月	25	473	123	2,259	14	385	18	738	180	3,855
合計	277	4,775	1,372	19,486	159	4,010	285	12,095	2,093	40,366

◇平成28年度　総合福祉センター利用状況　①福祉団体等

	福祉団体等						合計	
	ボランティア		福祉関係		その他			
	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数
4月	74	973	30	509	7	45	111	1,527
5月	79	1,014	23	665	10	76	112	1,755
6月	106	1,176	27	590	7	28	140	1,794
7月	95	1,297	23	511	8	23	126	1,831
8月	74	889	22	596	8	24	104	1,509
9月	85	1,073	27	627	6	17	118	1,717
10月	85	937	20	360	8	29	113	1,326
11月	81	993	23	439	7	20	111	1,452
12月	69	985	22	372	8	35	99	1,392
1月	68	874	18	341	12	83	98	1,298
2月	75	1,007	24	429	18	190	117	1,626
3月	83	1,745	22	363	18	151	123	2,259
合計	974	12,963	281	5,802	117	721	1,372	19,486

◇平成28年度　総合福祉センター利用状況　②行政関係

	行政関係								合計	
	福祉		教育		総務		その他			
	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数
4月	6	146	0	0	0	0	0	0	6	146
5月	7	114	5	66	0	0	5	162	17	342
6月	10	242	5	92	0	0	3	88	18	422
7月	10	252	3	21	0	0	2	62	15	335
8月	8	181	6	205	0	0	1	2	15	388
9月	7	230	4	22	0	0	2	62	13	314
10月	9	256	0	0	0	0	1	2	10	258
11月	12	543	0	0	0	0	1	2	13	545
12月	7	350	3	21	0	0	2	12	12	383
1月	8	155	2	20	0	0	1	2	11	177
2月	7	169	3	21	0	0	5	125	15	315
3月	9	331	3	46	0	0	2	8	14	385
合計	100	2,969	34	514	0	0	25	527	159	4,010

Ⅶ. 権利擁護事業

日常生活自立支援事業 …… 55
法人後見事業について …… 57

30. 日常生活自立支援事業　第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

社会福祉法に基づき、認知症の方、知的障がい者、精神障がい者のなかで判断能力が不十分なため日常生活が困難な方に対して、自立した地域生活が送れるよう、社協に生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や日常的金銭管理、書類等（預貯金通帳）の預かり等のサポートを行っている。利用者は、年々増加の一途をたどっており、マンパワーの確保が急務となっている。

本会として、日常生活自立支援事業は、市民参加が難しい権利擁護事業において、唯一市民参加が可能な事業として位置づけし、地域福祉関係者に生活支援員を担っていただき、段階的に増員をはかることにしている。平成28年度は、年度末に3名が新たに生活支援員として加わった。

平成28年度実績

◇新規相談件数　：18名（男性10名　女性8名）

類型内訳：認知症12名　知的1名　精神5名

◇利 用 者 数　：25名（男性13名　　女性12名）

類型内訳：認知症16名　知的3名　精神　5名　重複（知的・精神）1名

◇生活支援員　援助活動実績表　　生活支援員10名（内、社協職員4名）

	件数	回数	終了	開始
4月	21	29		1
5月	21	31		
6月	21	31		
7月	22	29		1
8月	23	33		1
9月	23	38		
10月	23	36		
11月	23	30	1	1
12月	25	38		2
1月	24	34	1	
2月	24	35	1	1
3月	24	35		1
合計	274	399	3	8

◇生活支援員会議

開催日	内容
4月27日（火）	・日常生活自立支援事業の現状について ・障害者福祉サービスについて（大野城市福祉課）
6月21日（火）	・日常生活自立支援事業の現状について ・生活保護制度について（大野城市生活支援課）
8月30日（火）	・日常生活自立支援事業の現状について ・研修報告 （精神保健福祉夏期講座、法テラス研修、権利擁護・高齢者虐待防止研修）
10月26日(火)	・日常生活自立支援事業の現状について ・消費生活見守り講座～昨今の消費者トラブルと対処法について～ （消費生活支援センター）
12月14日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・生活支援と万一のための支援、亡くなった後のサポートについて (えにしの会) ・研修報告 (生活支援員実務者研修)
2月22日(水)	・日常生活自立支援事業の現状について ・生活支援と万一のための支援、亡くなった後のサポート　質疑応答 (えにしの会) ・28年度事業報告と次年度計画について

31. 法人後見事業について 第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

平成28年度実績

1 権利擁護推進準備室及び成年後見運営委員会の設置

平成28年4月　事務局において、権利擁護推進準備室を設け、法人後見事業の実施について準備を整える。その一環として成年後見運営委員会を設置する。
6月13日　福岡家庭裁判所へ訪問し、主任調査官と面談する。

2 第１回法人後見運営委員会の開催

期　日 ： 平成29年1月28日
場　所 ： 大野城市総合福祉センター3階小会議室
運営委員 ： 弁護士(1)、司法書士(1)、社会福祉士(2)、行政関係者(1) 計５名
内　容 ： ①成年後見の取り組み及び事業内容についての説明
②委員長・副委員長の選出
③1件のケースについて法人後見受任に関する審議、意見交換
ケース概要：
療育手帳及び身体障害者手帳を所持し、施設入所している39歳の女性。

3 その他の相談ケース内容と今後の課題・展開

今年度通して精神障がい者・知的障がい者の方の両親・本人から相談を3，4件受けている。その内容としては、親亡き後の問題・遺産相続・遺言・虐待・障害特性の対応など多種多様な問題があり、今後丁寧に関わりながら、法人後見の受任を検討していく。

今後の課題としては、マンパワーの確保である。全国的な大きな流れとしては、市民後見人の養成が行われている地域があるが、福岡県ではまだ市民が後見人として選任され活動は行われていないのが現状である。

また、成年後見制度利用促進基本計画が今年度位置づけられ、地域社会の中で本人・後見人を支える機関等の社会的ネットワークが整備されていき、財産管理偏重から意思決定支援や身上の保護（監護）を重視するという流れがあるため、今後も国の動向を注視していく。

Ⅵ. 総合福祉センター

総合福祉センター …… 53

32. 寄附採納事業

寄附金は在宅高齢者・障がい者の方への支援事業やボランティアセンター運営事業など社会福祉協議会が行なう民間社会福祉事業に活用されている。

※寄附種別

一般寄附 …… 個人、団体の善意による寄附
香典返し寄附 …… 故人並びにご遺族のご遺志による寄附
指定寄附 …… 指定した事業に充てられる寄附
物品寄附 …… 車いす、紙オムツなど物品による寄附

平成28年度実績

◇寄附採納事業実績

寄附種別	件数	寄附内容
一般寄附	54件	3, 884, 760円
指定寄附	(うち1件は商品券) 2件	30, 000円
	(休憩室新設工事) 1件	2, 808, 000
	(ダイハツマックス中古軽車両) 1件	1台
香典返し寄附	23件	2, 061, 868円
(合計)	81件	8, 784, 628円
物品寄附	82件	米・食料品4件、お菓子19件、文房具7件 老眼鏡1件、拡大鏡1件、紙おむつ11件 碁盤・碁石1式、衣類5件、タオル3件 手芸用品1件、食器2件、チャイルドシート1台 座椅子1台、ソファベッド2台、机1台 テーブル・イスセット1セット 布団・毛布など4件、シャワーチェア3台 車イス6台、ポータブルトイレ7台 キャリーカー4台、歩行器3台 冷凍庫1台、洗濯機1台、博多人形1式 ファミリーコンサートチケット1件 医療用カテーテル1式 切手・ハガキ等(一般寄附へ)

―税控除の適応について―＜社会福祉協議会へのご寄附は特定寄附金です＞

個人寄附者

寄附金控除額 ＝ 1月～12月まで 特定寄附金 ／ 総所得の40%相当額 } どちらか少ない額 － 2, 000円

企業寄附者

全額損金算入限度額 ＝ 1月～12月まで (資本金の0.25%)＋(所得の金額の5%)÷2

★但し、税制改正により変更になることがある。

Ⅸ. その他の事業

ふくしフェスティバル2016 …… 59
社会福祉援助技術現場実習受け入れ …… 59
職員の資格（取得）状況 …… 60
職員内部研修 …… 61

33. ふくしフェスティバル２０１６（第１７回大野城市総合福祉まつり改称）

第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

高齢者・障がい者・児童福祉などに対する正しい理解と普及啓発を図るとともに、市民の地域福祉活動を促進することを目的したこの事業は今回で17回目を迎えた。

今回より、これまでの実行委員会を改変し、一般公募で市民を募り、19名の新しい委員による実行委員会を組織し事業の見直しが行われた。まず事業の名称を「ふくしフェスティバル2016」に改め、出店ブースも福祉センター前から市役所南側駐車場側に移し、出店数も大幅に増え終日多くの人で賑った。また熊本地震での復興応援を兼ねて、熊本城復興本部長の“ひごまる＆ありさお姉さん”を招いて、大ホールや各ブースでPR活動を行い、特に子ども達には大好評を得ることができた。

平成28年度実績

内　容：福祉施設団体や子ども達などのアトラクション、作品展示販売コーナー、福祉お楽しみコーナー（子ども遊びコーナー、ボランティア体験）、日赤移動式かまど実演など
期　日：平成28年11月27日（日）
場　所：大野城まどかぴあ・市役所南側駐車場及び南側玄関前広場
参加者：約3,000人
主　催：大野城市ふくしフェスティバル実行委員会
共　催：大野城市・大野城市社会福祉協議会

34. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ

将来の福祉従事者を育成する一環として、各学校からの実習生の受け入れを行なっています。実習内容は、社会福祉協議会の事業全般にはじまり、介護サービス（訪問介護、訪問入浴）、コミュニティワーカーの地域福祉活動の現場実習等、様々なカリキュラムを組んでいます。

平成28年度実績

◇実習生受け入れ状況

実習期間		大学名	人数
平成28年度	8月 8日（月）～ 9月15日（火）	筑紫女学園大学	1
	8月 8日（月）～ 9月15日（火）	西南学院大学	1
延べ日数 52日			延べ人数2人

35. 職員の資格（取得）状況

社協職員は業務上、必要な資格を持ち合わせていなければならない場合があり、職員が自らの仕事力を高めるために様々な資格の取得に努力しています。

資格等名	社会福祉士	社会福祉主事	社会保険労務士	ボランティアコーディネーション力		ボランティアコーディネーション力	社協会計実務通信講座			簿記3級以上	応急手当普及員	防災士	防火管理者	介護支援専門員	主任介護支援専門員	看護師	介護福祉士	ホームヘルパー		介護職員初任者研修	ガイドヘルパー	成年後見人養成	認知症センター方式地域推進員	認知症キャラバンメイト	食品衛生責任者
				2級		3級	上級	初級	入門									1級	2級						
事務局	6	7	1	2		5	1	2	1	6	6	5	4	2	1		1	1	3	1	2	1		1	
介護サービス	3	1				1				8	3		2	7	2	3	23	4	23		13	1	1	10	1
総数	9	8	1	2		6	1	2	1	14	9	5	6	9	3	3	24	5	26	1	15	2	1	11	1

資格等名	社会福祉士実習指導者	行動援護	障がい者ヘルパー	精神障がい者ヘルパー	難病ヘルパー	保育士	認知症ケア専門士	幼稚園教諭	福祉住環境	福祉用具相談専門員	介護クラーク事務	医療事務	調理師	栄養士	同行援護	図書館司書	介護福祉士実習指導者	障害者相談支援従事者	バリデーション	喀痰吸引（第3号）	第二種衛生管理者	大型一種運転免許	介護職員実務者研修	車イスレクダンスインストラクター
事務局	3				1		1		1			1						1			1	2		
介護サービス	1	4	7	10	9	2		1	3	1	2	3	2	1	5	2	1	2	2	2			1	1
総数	4	4	7	10	10	2	1	1	4	1	2	4	2	1	5	2	1	3	2	2	1	2	1	1

36. 職員内部研修

◇平成２８年度職員内部研修

①接遇研修

開催月日	平成28年7月9日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員48名
研修内容	接遇研修“こんなことがいやだった。” （自分の体験を通してみんなグループワーク）

②人権研修

開催月日	平成28年12月10日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員41名
研修内容	人権研修 「LGBTって？～人としての尊厳とは？～」 講師：牧園　祐也　氏

資　　料

別表１　社協会員推進状況　・・・ 62

別表２　介護サービス状況　・・・ 63

別表３　ほっとサポート状況　・・・ 66

別表４　介護サービス研修会開催状況　・・・ 67

別表５　福祉食事サービス利用状況　・・・・ 68

別表６　職員研修参加等実績　・・・・ 69

別表1　平成28年度社協会員推進状況

区別	一般会員			賛助会員			特別会員			平成２８年度実績			平成２７年度実績		前年度比較
	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	口数	金額	
牛頸	829	965	482,500	2	2	4,000	0	0	0	831	967	486,500	979	491,000	△ 4,500
若草	540	620	311,900	1	1	2,000	1	1	5,000	542	622	318,900	611	318,400	500
平野台	968	968	484,000	0	0	0	0	0	0	968	968	484,000	964	482,000	2,000
月の浦	1,180	1,249	624,500	0	0	0	0	0	0	1,180	1,249	624,500	1,254	627,000	△ 2,500
南ヶ丘１	1,714	1,866	933,000	0	0	0	0	0	0	1,714	1,866	933,000	1,851	930,000	3,000
南ヶ丘２	1,057	1,057	528,500	0	0	0	0	0	0	1,057	1,057	528,500	1,057	528,500	0
つつじヶ丘	1,025	1,175	587,500	0	0	0	0	0	0	1,025	1,175	587,500	1,175	589,000	△ 1,500
上大利	76	1,500	750,000	0	0	0	0	0	0	76	1,500	750,000	1,476	742,500	7,500
下大利	355	886	443,000	1	1	2,000	2	2	10,000	358	889	455,000	869	454,000	1,000
東大利	197	976	501,200	0	0	0	1	1	5,000	198	977	506,200	925	469,100	37,100
下大利団地	540	540	270,000	0	0	0	1	1	5,000	541	541	275,000	542	277,000	△ 2,000
白木原	216	1,009	504,500	5	5	10,000	1	1	5,000	222	1,015	519,500	1,052	527,500	△ 8,000
瓦田	400	1,000	499,676	28	28	56,000	6	7	35,000	434	1,035	590,676	1,126	637,676	△ 47,000
釜蓋	49	558	279,000	1	1	2,000	2	2	10,000	52	561	291,000	596	301,000	△ 10,000
井の口	572	573	286,500	0	0	0	0	0	0	572	573	286,500	521	260,500	26,000
中	486	885	442,500	2	2	4,000	0	0	0	488	887	446,500	874	438,500	8,000
乙金	125	505	304,000	2	2	4,000	0	0	0	127	507	308,000	395	239,806	68,194
乙金台	486	489	244,500	0	0	0	0	0	0	486	489	244,500	491	245,500	△ 1,000
乙金東	424	424	212,000	0	0	0	1	1	5,000	425	425	217,000	435	217,500	△ 500
大池	396	396	198,000	0	0	0	0	0	0	396	396	198,000	399	208,500	△ 10,500
上筒井	647	1,405	702,500	0	0	0	0	0	0	647	1,405	702,500	1,433	719,500	△ 17,000
下筒井	214	529	264,500	2	2	4,000	1	1	5,000	217	532	273,500	492	255,000	18,500
山田	535	546	273,000	2	2	4,000	0	0	0	537	548	277,000	580	299,000	△ 22,000
雑餉隈町	120	132	66,000	1	1	2,000	4	4	20,000	125	137	88,000	139	89,000	△ 1,000
栄町	81	94	47,000	1	1	2,000	2	2	10,000	84	97	59,000	127	72,500	△ 13,500
仲島	160	237	118,500	0	0	0	1	1	5,000	161	238	123,500	220	110,000	13,500
畑詰	110	196	98,000	0	0	0	1	1	5,000	111	197	103,000	203	119,500	△ 16,500
ｼﾆｱｸﾗﾌﾞ	30	30	15,000	3	3	6,000	15	15	75,000	48	48	96,000	26	116,500	△ 20,500
食改善	0	0	0	4	4	8,000	43	43	215,000	47	47	223,000	45	213,000	10,000
企業・団体	15	15	7,500	6	6	12,000	36	36	180,000	57	57	199,500	60	132,000	67,500
ﾘﾌﾄｶｰ利用者	2	2	1,000	6	6	12,000	15	15	75,000	23	23	88,000	27	93,000	△ 5,000
ﾊﾝﾃﾞｨｷｬﾌﾟ利用者	1	1	500	5	5	10,000	3	3	15,000	9	9	25,500	4	3,500	22,000
福祉機器利用者	10	10	5,000	0	0	0	0	0	0	10	10	5,000	13	8,000	△ 3,000
個人	3	3	1,500	1	1	2,000	0	0	0	4	4	3,500	0	0	3,500
合計	13,563	20,841	10,486,776	73	73	146,000	136	137	685,000	13,772	21,051	11,317,776	20,961	11,215,482	102,294

別表2　平成28年度 介護サービス状況

				H28					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険適用	居宅ｻｰﾋﾞｽケアプラン作成(人)			104	102	97	94	99	99
	介護予防ケアプラン作成(人)			4	4	4	4	4	4
	指定訪問介護(人)			44	43	42	37	40	38
	指定介護予防訪問介護(人)			25	19	15	13	12	8
	指定訪問入浴(人)			6	6	6	4	5	5
	指定予防訪問入浴(人)			－	－	－	－	－	－
	件数合計			183	174	164	152	160	154
	ﾍﾙﾊﾟｰ実働(時間)	身体介護		142.00	150.50	138.50	135.50	128.50	103.50
		生活援助		248.65	223.66	233.91	201.93	221.68	225.25
		予防訪問介護		152.00	127.00	88.00	81.50	76.00	44.75
		計		542.65	501.16	460.41	418.93	426.18	373.50
	入浴ｽﾀｯﾌ稼動回数	実施		30	31	29	23	30	29
		キャンセル		1	2	6	3	4	3
総合事業	総合事業ケアプラン作成(人)			2	2	2	2	2	2
	訪問型サービス国基準(人)			3	7	10	12	12	15
	訪問型サービスA(人)			3	4	5	5	5	8
	件数合計			8	13	17	19	19	25
	ﾍﾙﾊﾟｰ実働(時間)	訪問型(国)		12.0	36.0	52.0	64.0	70.0	70.5
		訪問型(A)		12.0	15.0	23.0	24.0	25.0	35.0
		計		24.0	51.0	75.0	88.0	95.0	105.5
障害福祉サービス	指定特定相談支援	計画相談		17	20	8	15	10	9
		モニタリング		16	12	8	12	6	21
	居宅介護	対象者(人)	障害者	18	17	17	17	18	19
			知的障害者	3	3	3	3	3	3
			障害児	1	1	1	1	1	1
			計	22	21	21	21	22	23
		身体介護(時間)	障害者	107.00	116.00	126.50	120.00	133.00	105.50
			知的障害者	27.00	19.00	27.00	7.50	7.50	9.00
			障害児	54.50	46.00	49.00	49.00	47.00	11.50
			計	188.50	181.00	202.50	176.50	187.50	126.00
		家事援助(時間)	障害者	109.00	107.00	112.00	113.50	111.50	118.00
			知的障害者	19.00	18.00	19.00	20.00	15.00	20.00
			障害児	－	－	－	－	－	－
			計	128.00	125.00	131.00	133.50	126.50	138.00
		合計		316.50	306.00	333.50	310.00	314.00	264.00
	行動援護	対象者(人)	障害者	－	－	－	－	－	－
			知的障害者	1	1	1	1	－	1
			障害児	－	－	－	1	－	－
			計	1	1	1	2	－	1
		時間	障害者	－	－	－	－	－	－
			知的障害者	10.00	10.00	10.00	10.00	－	10.00
			障害児	－	－	－	1.50	－	－
			計	10.00	10.00	10.00	11.50	－	10.00
	同行援護	対象者(人)	視覚障害者	3	2	2	3	2	4
		時間	視覚障害者	9.50	11.00	8.00	14.50	10.00	12.00
	地域生活支援事業	対象者(人)	障害者	1	1	1	1	1	1
			知的障害者	1	2	2	1	1	1
			障害児	6	7	6	6	3	5
			計	8	10	9	8	5	7
		移動身体あり(時間)	障害者	－	－	－	－	－	－
			知的障害者	4.00	4.00	6.00	2.00	4.00	4.00
			障害児	21.00	26.00	24.00	17.50	4.50	26.00
			計	25.00	30.00	30.00	19.50	8.50	30.00
		移動身体なし(時間)	障害者	3.00	2.00	6.00	5.00	2.50	5.50
			知的障害者	－	－	－	－	－	－
			障害児	－	16.50	13.50	6.50	－	9.00
			計	3.00	18.50	19.50	11.50	2.50	14.50
		合計		28.00	48.50	49.50	31.00	11.00	44.50
		入浴事業対象者(人)		1	1	1	1	1	2
		障害者(回)		8	9	9	8	9	12
		計		9	11	10	9	6	9
	障害福祉対象者計			35	35	34	35	30	37
サービス利用者　計				*226*	*222*	*215*	*206*	*209*	*216*
ﾍﾙﾊﾟｰ総稼働時間数				930.65	927.66	936.41	873.93	856.18	809.50
入浴事業稼働回数				38	40	38	31	39	41

				H28			H29			合 計
				10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護保険適用	居宅ｻｰﾋﾞｽケアプラン作成(人)			100	98	97	94	91	91	1,166
	介護予防ケアプラン作成(人)			4	5	4	4	4	5	50
	指定訪問介護（人）			38	38	33	34	31	32	450
	指定介護予防訪問介護(人)			1	1	1	1	1	1	98
	指定訪問入浴（人）			5	4	4	4	4	4	57
	指定予防訪問入浴(人)			−	−	−	−	−	−	0
	件数合計			148	146	139	137	131	133	1,821
	ﾍﾙﾊﾟｰ実働（時間）	身体介護		100.50	98.50	105.50	95.50	96.00	105.00	1,399.50
		生活援助		211.93	197.15	187.41	179.65	165.93	128.43	2,425.58
		予防訪問介護		4.50	5.25	5.25	4.50	5.25	5.25	599.25
		計		316.93	300.90	298.16	279.65	267.18	238.68	4,424.33
	入浴ｽﾀｯﾌ稼動回数	実施		27	22	24	23	22	27	317
		キャンセル		7	3	1	2	2	−	34
総合事業	総合事業ケアプラン作成(人)			2	2	2	2	4	3	27
	訪問型サービス国基準(人)			19	17	16	16	16	16	159
	訪問型サービスA(人)			10	10	10	10	10	10	90
	件数合計			31	29	28	28	30	29	276
	ﾍﾙﾊﾟｰ実働（時間）	訪問型（国）		90.5	89.0	80.5	76.3	78.0	84.75	803.55
		訪問型（A）		46.0	46.0	49.5	49.0	42.0	49.0	415.5
		計		136.5	135.0	130.0	125.3	120.0	133.75	1,219.05
障害福祉サービス	指定特定相談支援	計画相談		12	12	12	5	9	6	135
		モニタリング		9	11	10	9	12	22	148
	居宅介護	対象者（人）	障害者	18	17	20	20	21	20	222
			知的障害者	3	3	3	3	3	2	35
			障害児	1	1	1	1	−	1	11
			計	22	21	24	24	24	23	268
		身体介護（時間）	障害者	93.50	101.00	110.50	129.00	126.00	156.50	1,424.50
			知的障害者	6.00	7.00	9.50	22.50	5.00	−	147.00
			障害児	7.50	5.50	5.00	3.00	−	8.00	286.00
			計	107.00	113.50	125.00	154.50	131.00	164.50	1,857.50
		家事援助（時間）	障害者	92.00	100.00	104.50	96.00	98.00	103.00	1,264.50
			知的障害者	20.00	18.00	19.00	18.00	17.00	20.00	223.00
			障害児	−	−	−	−	−	−	−
			計	112.00	118.00	123.50	114.00	115.00	123.00	1,487.50
		合計		219.00	231.50	248.50	268.50	246.00	287.50	3,345.00
	行動援護	対象者（人）	障害者	−	−	−	−	−	−	−
			知的障害者	1	−	−	1	−	1	8
			障害児	1	−	−	1	1	−	4
			計	2	−	−	2	1	1	12
		時間	障害者	−	−	−	−	−	−	−
			知的障害者	10.00	−	−	10.00	−	10.00	80.00
			障害児	1.00	−	−	0.50	0.50	−	3.5
			計	11.00	−	−	10.50	0.50	10.00	83.50
	同行援護	対象者(人)	視覚障害者	2	3	2	3	2	3	31
		時間	視覚障害者	12.00	17.00	9.00	15.50	8.00	28.50	155.00
	地域生活支援事業	対象者（人）	障害者	1	1	1	1	1	1	12
			知的障害者	1	1	1	1	1	1	14
			障害児	5	5	6	6	5	6	66
			計	7	7	8	8	7	8	92
		移動身体あり（時間）	障害者	−	−	−	−	−	−	0.00
			知的障害者	3.00	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	46.00
			障害児	24.50	15.50	13.00	14.50	14.00	12.00	212.50
			計	27.50	19.50	16.00	18.50	18.00	16.00	258.50
		移動身体なし（時間）	障害者	2.50	3.00	2.50	6.00	6.00	2.50	46.50
			知的障害者	−	−	−	−	−	−	−
			障害児	9.00	9.50	7.50	6.00	9.00	3.00	89.50
			計	11.50	12.50	10.00	12.00	15.00	5.50	136.00
		合計		39.00	32.00	26.00	30.50	33.00	21.50	394.50
		入浴事業対象者(人)		2	2	2	2	2	2	19
		障害者(回)		12	12	13	10	12	13	127
		計		9	9	10	10	9	10	111
	障害福祉対象者計			35	33	36	39	36	37	422
サービス利用者　計				*214*	*208*	*203*	*204*	*197*	*199*	*2,519*
ﾍﾙﾊﾟｰ総稼働時間数				734.43	716.40	711.66	729.95	674.68	719.93	9,621.38
入浴事業稼働回数				39	34	37	33	34	40	444

別表2 平成28年度 介護サービス状況

				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
受託	タイムケア	対象者(人)		18	14	19	21	14	8	15	5	9	9	11	13	156
		時間		178.00	126.50	172.00	188.00	144.00	88.00	151.00	54.00	96.00	104.00	114.00	174.00	1,589.50
	タイムケア(学校)	対象者(人)	小学校	－	3	4	4	－	3	3	3	3	3	3	－	29
			中学校	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			計	－	3	4	4	－	3	3	3	3	3	3	－	29
		時間	小学校	－	6.00	8.50	5.00	－	6.00	6.00	4.00	5.00	5.00	5.00	－	50.50
			中学校	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			計	－	6.00	8.50	5.00	－	6.00	6.00	4.00	5.00	5.00	5.00	－	50.50
	学童	対象者(延べ人数)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		時間		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	赤ちゃんヘルプ	対象者(延べ人数)		17	12	12	18	17	17	18	9	7	10	12	9	158
		時間		18.0	17.0	19.0	25.0	18.0	18.0	20.0	9.0	7.0	10.0	13.0	9.0	183.0
		回数		17	12	12	18	17	17	18	9	7	10	12	9	158
	こんにちは赤ちゃん	対象者数		6	3	7	4	3	6	6	3	4	1	5	3	51
		訪問終了者		7	7	6	3	3	3	8	7	2	2	4	2	54
サービス利用者　計				*42*	*36*	*41*	*46*	*34*	*31*	*44*	*24*	*21*	*24*	*30*	*24*	*397*

Ⅷ. 寄附採納事業

寄附採納事業 …… 58

別表3　ほっとサポート状況（平成28年4月～平成29年3月）

のべ利用者 403 名　　実利用者数 12 名

単価（1時間：1,800円）

内　容	利用時間	単価	回数	時　間	金　額
介護保険制度外支援他	30分	900	7	3.5 H	6,300
〃	1時間	1,800	362	362 H	651,600
〃	1時間（時間外）	2,300	2	2 H	4,600
〃	1時間15分	2,250	1	1.25 H	2,250
〃	1時間30分	2,700	22	33 H	59,400
〃	1時間30分（時間外）	3,200	1	1.5 H	3,200
〃	1時間30分（時間外）	3,450	1	1.5 H	3,450
〃	2時間	3,600	2	4 H	7,200
〃	2時間30分	4,500	1	2.5 H	4,500
〃	3時間	5,400	2	6 H	10,800
〃	3時間30分	6,300	2	7 H	12,600
合　計			403	424.25 H	765,900

平成28年度介護サービス研修会開催状況

別表 4

	訪問介護	訪問入浴	居宅介護
4月9日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○2016年度の方針及び事業内容について(担当 松田) 4月25日(月)13:00～14:00 事例検討会	○	○	○ ○
5月14日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○感染症対策について(担当 鬼塚)	○	○	○
6月11日 (土)9:00～11:00 社協3F大会議室 ○認知症について(担当 秦・幸) 6月27日(月)13:00～14:00 事例検討会 6月21日(火)13:30～15:00 居宅連絡会 6月15日(水)13:30～16:00 筑紫地区介護支援専門員連絡協議会研修	○	○	○
7月9日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○接遇について(担当 中山) 7月25日(月)13:00～14:00 事例検討会 7月19日(火)13:30～15:00居宅連絡会	○	○	○ ○
8月6日(土) 9:00～11:00 社協小会議室①② ○身体介護技術(担当 福島正) 8月22日(月)13:00～14:00 事例検討会 8月16日(火)13:30～15:00居宅連絡会	○	○	○
9月10日(土) 9:00～11:00 社協2F多目的室 ○緊急時の対応及び事故発生又は再発防止について(担当 阿相) 9月26日(月)13:00～14:00 事例検討会	○	○	○ ○
10月8・22日(土) ○施設見学(担当 幸) 10月24日(月)13:00～14:00 事例検討会 10月18日(火)13:30～15:00居宅連絡会	○	○	○
11月12日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○事例検討について(担当 福島愛) 11月28日(月)13:00～14:00 事例検討会 11月15日(火)13:30～15:00居宅連絡会	○	○	○
12月10日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室(事務局合同) ○高齢者・障がい者の人権・利用者のプライバシー保護・倫理及び法令遵守(担当 平田・萩尾) 12月26日(月)13:00～14:00 事例検討会 12月20日(火)13:30～15:00居宅連絡会	○	○	○ ○
1月14日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○生活介護技術(担当 秦) 1月23日(月)13:00～14:00 事例検討会 1月17日(火)13:30～15:00居宅連絡会	○	○	○
2月11日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○事例検討について(担当 松田・福島正) 2月27日(月)13:00～14:00 事例検討会 筑紫地区介護支援専門員連絡協議会研修	○	○	○
3月11日(土) 9:00～11:00 社協3F大会議室 ○介護保険法・障害者総合支援法改正について(担当 福島愛) 3月27日(月)13:00～14:00 事例検討会 3月21日13:30～15:00居宅連絡会	○	○	○

訪問介護・訪問入浴職員全員参加(新任職員も含む)、毎回ヒヤリハッと報告・事務連絡あり。
居宅介護については、毎週の定例会議の他月1回の事例検討会開催。大野城市居宅介護支援事業者連絡会もしくは筑紫地区介護支援専門員連絡協議会の研修に交替で参加。

別表5

平成28年度 福祉食事サービス利用状況

月	利用者数	利用食数			1日平均利用者			当月利用者世帯状況						未利用者内訳					新規
		昼食	夕食	計	昼食	夕食	1日	単身	夫婦	身障者	知障者	精障者	その他	中止	入院	施設	死亡	その他	
4月	77	572	1,376	1,948	19	46	65	60	6	1	1	2	7	1	1	0	0	1	1
5月	76	584	1,414	1,998	19	46	64	60	5	1	1	2	6	2	7	2	0	0	2
6月	75	527	1,356	1,883	18	45	63	59	6	1	1	2	6	5	4	2	0	3	3
7月	73	518	1,312	1,830	17	42	59	57	6	1	1	2	6	0	5	2	0	1	0
8月	74	512	1,221	1,733	17	39	56	59	4	1	1	2	7	0	2	1	1	4	2
9月	67	489	1,199	1,688	16	40	56	54	4	1	1	2	5	5	1	1	4	1	1
10月	68	464	1,229	1,693	15	40	55	53	6	1	1	2	5	8	4	0	0	3	3
11月	66	509	1,180	1,689	17	39	56	54	4	1	1	2	4	3	1	0	0	0	4
12月	68	537	1,266	1,803	17	41	58	55	4	1	1	2	5	6	1	0	2	0	3
1月	66	554	1,199	1,753	18	39	57	54	4	1	1	3	3	1	2	0	0	0	2
2月	73	595	1,186	1,781	21	42	64	60	4	1	1	3	4	6	7	1	1	0	9
3月	73	662	1,285	1,947	21	41	63	60	4	1	1	3	4	7	2	0	0	1	5
合計	856	6,523	15,223	21,746										44	37	9	8	14	35

別表6 職員研修参加等実績

◇ 外部研修

福岡地区地域福祉活動職員連絡会総会	4/8	クローバープラザ	山内
第1回日韓社会福祉研究交流会	5/13	筑紫女学園大学	山内
平成28年度福岡県地域福祉活動職員連絡会総会・研修会	5/13	クローバープラザ	粟津
福岡県地域福祉活動職員連絡会研修会	5/13	クローバープラザ	粟津
がれきの処理等を行う方のための安全講習会	5/30	福岡県建設会館	高原
介護保険制度改正に伴う新地域支援事業に関する勉強会	6/7	古賀市社会福祉協議会	小谷
九州がんセンター2016年度第2回緩和ケア勉強会	6/15	九州がんセンター	阿相
第7回赤い羽根全国ミーティングin宮城	6/22～6/23	宮城県松島町	粟津
平成28年度ストレスチェック研修	6/30	クローバープラザ	金丸
平成28年度市区町村社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長会議	6/30	クローバープラザ	岡会長・小谷
平成28年度福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会(初任者)	7/12	クローバープラザ	宮原
ニックセミナー2016	7/22	福岡センタービル	中山
平成28年度広報担当者研修	8/4	クローバープラザ	粟津
平成28年度精神保健福祉夏期講座	8/3～8/4	クローバープラザ	橋川 宮原
平成28年度社会福祉法人制度改革対応セミナー(前期)	8/9	JR九州ホール	金丸
平成28年度法テラス福岡・筑紫地区地方協議会	8/18	クローバープラザ	宮原
福岡県地域福祉活動職員連絡会 平成28年度全体会議	8/19	クローバープラザ	粟津
平成28年度高齢者虐待防止・権利擁護研修	8/24	クローバープラザ	井上 橋川
平成28年度十市一町社会福祉協議会連絡協議会	8/26	春日市社会福祉協議会	岡会長・小谷
平成28年度市区町村社会福祉協議会職員研修プレゼンテーション研修会	9/1	クローバープラザ	高原 金丸
平成28年度精神障害者地域支援関係機関会議	9/2	筑紫総合庁舎	井上
平成28年度第1回災害ボランティアセンター運営者研修	9/14～9/15	福岡商工会議所	粟津
平成28年度福岡県生活支援コーディネーター養成研修	9/6・9/15	吉塚合同庁舎	高原
平成28年度市区町村社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長研修会	9/26～9/27	玄海ロイヤルホテル	岡会長 小谷
平成28年度難病従事者研修	9/5	福岡県保健所	幸 松田
平成28年度福岡県主任介護支援専門員研修	6/9・6/23・6/30・7/7・7/14・7/26・8/9・8/17・8/24・9/7・9/14・9/30	クローバープラザ ふくふくプラザ	鬼塚
平成28年度福岡県生活支援コーディネーター養成研修	9/23・10/6	吉塚合同庁舎	塚田
平成28年度自殺対策事業におけるゲートキーパー養成研修	10/14	筑紫合同庁舎	秦
福岡県法律相談連絡協議会総会	10/25	福岡市市民福祉プラザ	井上
平成28年度支援者のためのアルコール依存症研修会	11/4	筑紫総合庁舎	幸
ケアプランチェックセミナー	11/16	エイジフリーセンター大野城	平田
第1回地域ケアマネジャー懇話会	11/17	メディカルケア南ヶ丘	鬼塚 中山
あいゆう研修	11/21	福岡市立中央市民センター	井上
平成28年度市町村社会福祉協議会社会福祉法人制度改革に関する説明会	11/22	サンコスモ古賀	合原 金丸
平成28年度感染症予防(後期)研修	11/25	大野城まどかぴあ	幸
実習フォローアップ研修「実習スーパービジョンについて」	12/3	クローバープラザ	山内
福岡県における災害支援体制を考える研修会	12/5	福岡商工会議所	高原
平成28年度福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会(実務者編)	12/7	クローバープラザ	宮原
平成28年度摂食嚥下研修会	12/7	筑紫歯科医師会館	阿相 鬼塚 中山
平成28年度精神保健福祉家族講座	12/9	筑紫総合庁舎	井上
平成28年度全国ホームヘルプ協議会常任協議員会及び「質を高める研究会」	12/15	全国社会福祉協議会	福島 松田
2016年度第2回支援者のための成年後見活用講座	12/19	クローバープラザ	橋川
福岡地区地域福祉活動職員連絡会課題別研修	1/13	クローバープラザ	山内
大野城市東地区コミュニティ協議会視察研修	1/17	大牟田市・益城町	粟津
平成28年度第4回地域運営推進会議	1/19	さわやかテラス大野城中央	高原
住民主体形成のための『場』への援助技術に関する調査	1/28	鞍手町総合福祉センター	粟津

福祉教育教材「ともに生きる」、福祉教育プログラム集を活用した福祉教育推進説明会と平成 28 年度福祉教育セミナー	1/31	クローバープラザ	山内
子育て応援宣言企業 6000 社大会	2/1	西鉄グランドホテル	金丸
平成 28 年度筑紫地区企業・事業所同和問題研修会	2/7	プラム・カルコア太宰府	金丸
平成 28 年度筑紫四市一町社会福祉協議会会長・事務局長連絡協議会並びに総務担当者会議	2/8	筑紫野市総合保健福祉センター	岡会長・小谷・合原・金丸
生活支援体制整備研究会視察研修 1 班	2/2～2/3	三鷹市・武蔵野市	馬場 髙原他
生活支援体制整備研究会視察研修 2 班	2/16～2/17	松戸市・柏市	小谷 塚田他
平成 28 年度みんなの力で地域を支え合うフォーラム	2/17	夢サイト	井上 橋川
平成 28 年度実務研修見学実習 実習指導者研修会	3/6	福岡県介護支援専門員協会	阿相
子育てサポーターたけのこ支援視察研修	3/16	医療法人聖粒会 慈恵病院	生田
福岡県地域医療介護総合確保基金事業コンプライアンス研修	3/28	南近代ビル	鬼塚 中山
学生による被災地支援を考える-セクターを越えて連携できる関係づくり-	3/29	西南学院百年館	栗津
主任介護支援専門員フォローアップ研修	3/30	福岡商工会議所	阿相

毎月第 2 土曜日 介護サービス定例研修